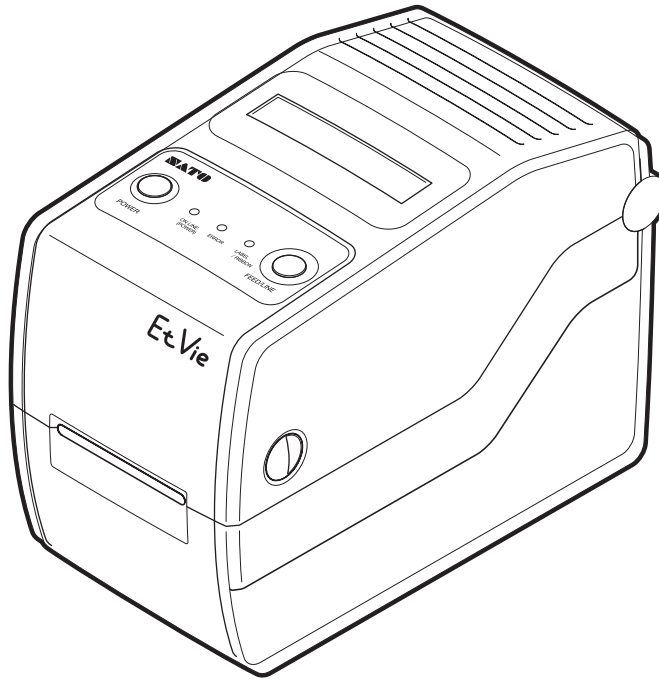
DCS & Labeling Worldwide

EtVie エヴィ EV200R シリーズ

取扱説明書



サトー純正品サプライ（ラベル・タグ・リボン）を必ずご使用ください。

株式会社 サトー

はじめに

このたびは、当社バーコードプリンタ EtVie EV200R シリーズをお買い求めいただきまして、ありがとうございました。本書は、はじめて EV200R シリーズをお使いになる方が、短期間で基本的な操作を習得していただくことを目的としています。
本書をよくお読みいただき、EV200R シリーズの機能をフルに使いこなしてください。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、購入されました販売店・ディーラーへご連絡ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

無線 LAN 仕様をお買い上げのお客様へ

電波に関するご注意

本製品は、電波法に基づく技術基準の適合認証を受けています。従って本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は日本国内でのみ使用できます。
以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
・本製品を分解／改造すること
・本製品に貼ってある証明ラベル（シリアルシール）をはがすこと
次の場所で使用した場合、著しく通信距離が短くなったり、通信できないことがあります。
電子レンジの近辺、静電気や電波障害が発生するところ、無線 LAN 機器の近辺。

無線 LAN インタフェースをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルに従って行ってください。

初版　2008 年 7 月 31 日　Q02329000
©2008 株式会社サトー

目次

安全上のご注意……I
設置及び取り扱い上の注意……1
箱から出しましょう……2
各部の名称……4
用紙のセット……9
カット位置の調整……21
カーボンリボンのセット……24
パソコンとの接続……30
簡易入力装置　Key-Bo（オプション）……32
電源を入れてみましょう……33
動かしてみましょう……40
あれ？どうしたのかな？……48
プリンタのお手入れ……52
基本仕様……55
アフターフォローについて……60

安全上のご注意

本章では、プリンタのご使用時における安全について記載しております。
プリンタをご使用になる前に必ずよくお読みください。

▲絵表示について

この取扱説明書やプリンタの表示では、プリンタを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への被害や財産への被害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解して、本文をお読みください。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

△ 記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は「してはいけないこと」を意味しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。図の中に具体的な内容指示（左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。

⚠ 警 告

■不安定な場所に置かない

- ぐらついた台の上や傾いた所、振動のある場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、ケガの原因になります。

■水などの入った容器を置かない

- プリンタの周辺に花ビン、コップなど水や薬品の入った容器や小さな金属物を置かないでください。万一、こぼしたり、中に入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラー又はサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■内部に異物を入れない

- プリンタの開口部（ケーブルの出口やSDカードスロット）から金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。万一、内部に異物が入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラー又はサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

■指定以外の電圧は使用しない

- 指定された電源電圧（AC100V）以外は、使用しないでください。火災・感電の原因になります。

⚠ 警 告

■必ずアース線を接続して

- 必ずプリンタのアース線をアースへ接続してください。アース線を接続しないと感電の原因になります。

■電源コードの取り扱いについて

- 電源コードを傷つけたり、破損、加工したりしないでください。又、重いものを乗せたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店、ディーラー又はサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

■落としたり、破損したときは

- プリンタを落としたり、破損した場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラー又はサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

■異常な状態で使用しない

- 万一、プリンタから煙がでている、変な臭いがするなどの異常が発生したまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラー又はサポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

■分解しないでください

- プリンタの分解や改造をしないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店、ディーラー又はサポートセンターにご依頼ください。

■カッタについて

- カッタに手やものを入れないでください。ケガをする恐れがあります。

■ヘッド清掃液の取り扱いについて

- ヘッド清掃液は、火気厳禁です。加熱したり、火の中に放り込むことは、絶対に行わないでください。

- お子様が間違って飲み込まないように手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医者と相談してください。

⚠ 注 意

■湿度が高い場所に置かない

- プリンタを湿度の高い場所、結露する場所に置かないでください。結露した場合は、速やかに電源スイッチを切り、乾くまで使用しないでください。結露したまま使用すると、感電の原因となります。

■持ち運び

- 移動されるときは、必ず電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜き、外部との接続線を外したことを確認の上、行ってください。外さないまま移動すると、コード、接続線が傷つき火災・感電の原因になります。

- 用紙をセットしたまま、プリンタを持ち運ばないでください。用紙が落ち、ケガをする恐れがあります。

- プリンタを床や台の上などに置く場合、プリンタの足に指や手を挟まないように注意してください。

⚠ 注 意

■電源

- 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電する恐れがあります。

■電源コード

- 電源コードに熱器具を近付けないでください。熱器具を近付けた場合電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。
- 電源コードをコンセントから抜くときは、必ず、プラグを持って抜いてください。電源コードを持って抜いた場合芯線の露出や断線し、火災・感電の原因になることがあります。
- 本プリンタに付属の電源コードは本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

■トップカバー

- トップカバーの開閉には、指を挟まないように注意して行ってください。又、トップカバーが滑り落ちないようにしっかりと持って行ってください。
- 振動によりトップカバーが急に閉まることがあります。取り扱いに注意してください。

■サーマルヘッド

- 印字後のサーマルヘッドは、高い温度になっています。印字直後の用紙の交換、清掃は、火傷をしないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの端を素手で触るとケガをする恐れがあります。用紙の交換、清掃は、ケガをしないように注意して行ってください。
- お客様によるサーマルヘッドの交換は、行わないでください。ケガ、火傷及び感電の恐れがあります。

■用紙のセット

- ロール紙をセットするとき、用紙と供給部の間に指を挟まないように注意して行ってください。

■簡易カッタ

- 刃物の構造をしています。手を切らぬように注意してください。

■長期間ご使用にならないとき

- プリンタを長期間ご使用にならないときは、安全のため電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

■お手入れ・清掃のとき

- プリンタのお手入れや清掃を行うときは、安全のため電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いてから行ってください。

■SDカードの取り扱い（オプション）

- カードを落としたり、手で曲げたりして強い衝撃を与えないでください。記憶された内容が失われるおそれがあります。
- 水に濡らさないでください。記憶された内容が失われるおそれがあります。
- 直射日光の当たるところや、暖房器具の近くに置かないでください。
- コネクタ部を直接触ったり、ゴミやホコリが入ったりしないようにしてください。記憶された内容が失われるおそれがあります。
- 高温多湿のところに保管しないでください。
- 静電気防止のため、輸送・保管時は必ずケースに入れてください。

設置及び取り扱い上の注意

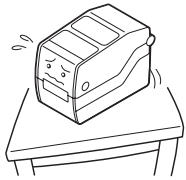
つぎのことに注意して、設置、取り扱いをおこなってください。

▲設置場所について

つぎのことに注意して、本機を設置してください。

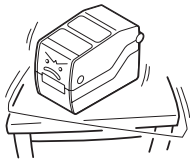
水平な場所に置いてください。

設置する場所が、でこぼこや斜めの場合、きれいな印字ができません。また、故障の原因になり、プリンタの寿命を短くする恐れがあります。



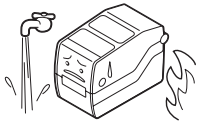
振動のある場所には置かないでください。

振動のある場所には設置しないでください。
また、ロール紙をセットしたままプリンタを運んだり、大きな振動を与えないでください。



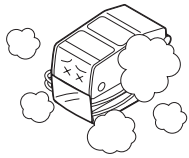
高温･多湿の場所には置かないでください。

温度・湿度が高くなる場所に設置しないでください。
温度・湿度が高くなりますと故障の原因になります。



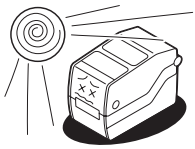
ほこりを避けて使用してください。

ほこりがつくときれいに印字できなくなることがあります。また、故障の原因になるだけでなく、製品の寿命を短くする恐れがあります。



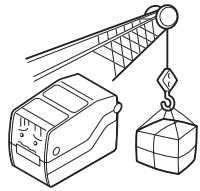
直射日光は嫌いです。

本機は光学センサを内蔵していますので、直射日光が当たるとセンサが誤作動を起こすことがあります。印字するときは必ずトップカバーを閉じてください。



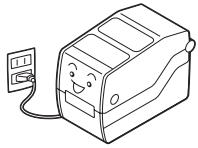
クレーンやプレス機などのそばには置かないでください。

クレーンやプレス機など大容量の電気を使う機器は、電気ノイズや電源の電圧低下を起こす原因になります。本機の誤動作や故障のもとになりますので、これらの機器のそばに本機を置かないでください。



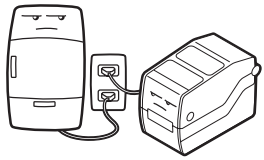
▲電源について

本機は、AC100Vの交流電源が必要です。



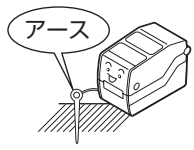
電圧の低下などの変動が少ない電源から電気を供給してください。

ヒーターや冷蔵庫などの消費電力の大きい電気製品と同じ電源や、その近くの電源から電気を供給しないでください。電源の電圧の低下などにより誤動作を起こすことがあります。



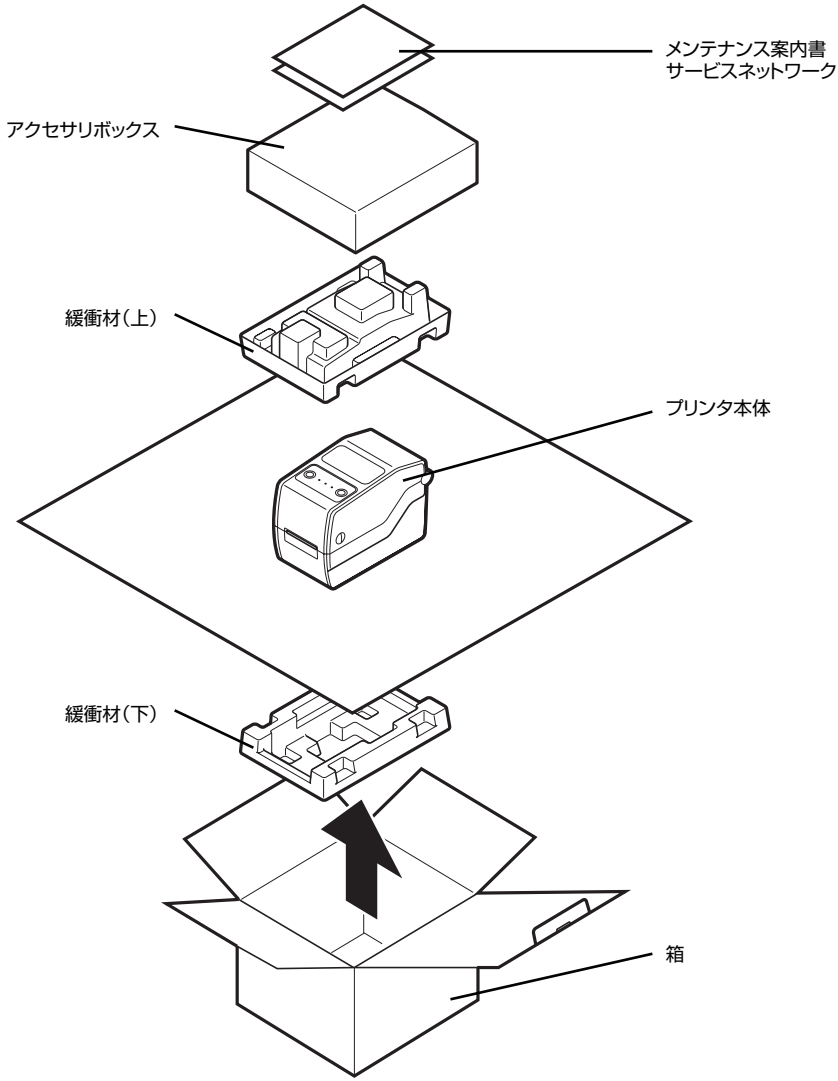
必ずアース線を接続してください。

アース設備がない場合は、アース設備工事をおこなってください。



箱から出しましょう

本機を箱から出して設置します。それでは箱を開けましょう。

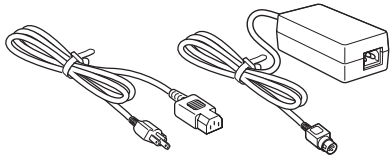


※緩衝材 (プリンタ押えのプロテクタパッド等) の形状が一部異なる場合があります。

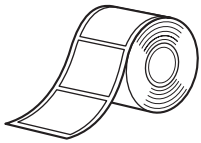
添付品の確認

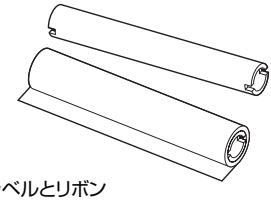
箱を開けたら、つぎの添付品が揃っているか確認してください。もし、足りないものがありましたら、購入されました販売店・ディーラーまでお問い合わせください。

保証書(ビニールホルダ付き)



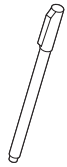
ACアダプタと電源コード





テスト用ラベルとリボン

アクセサリCD-ROM

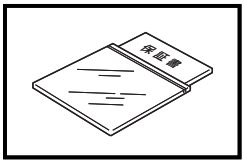


クリーニングペン

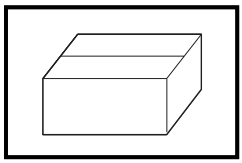
メンテナンス案内書
サービスネットワーク

2極アダプタ

▲保証書と箱は大切に



本機は、正常なご使用のもとにおける故障については、納入日より 6 カ月間を保証期間として無償修理いたします。修理をご依頼いただくとき、添付の保証書によるユーザー登録が必要です。保証書は大切に保管してください。万一、保証書を紛失されたときは、修理が有償となりますのでご了承ください。

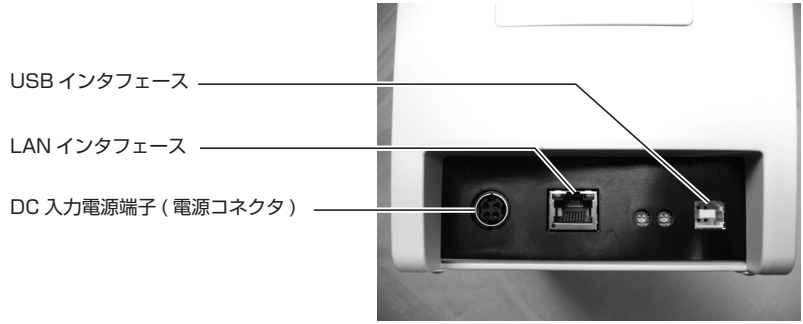


また、本機を梱包していた箱とプリンタ押え (緩衝材) も保管してください。修理をご依頼いただくときに、この箱に本機を梱包して送っていただきます。

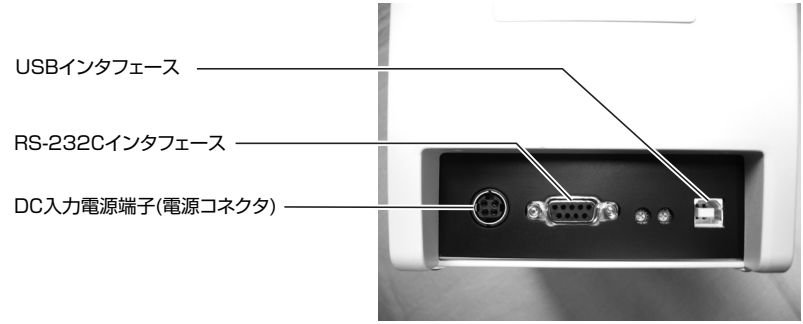
各部の名称

▲プリンタ本体 (本体外観)

▲背面部 (USB+LAN インタフェース)

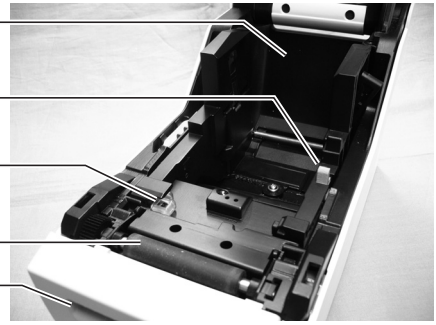


▲背面部 (USB+RS-232C インタフェース)

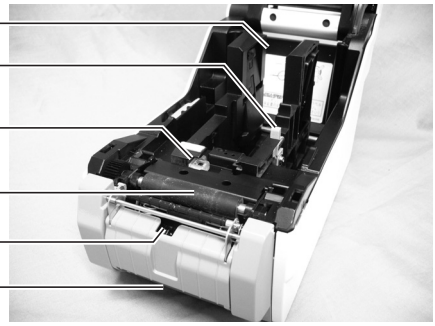


トップカバーオープン時

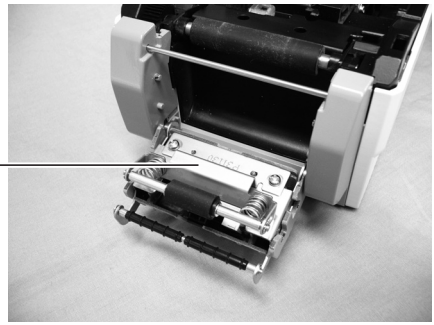
トップカバーオープン時（カッタオプション）



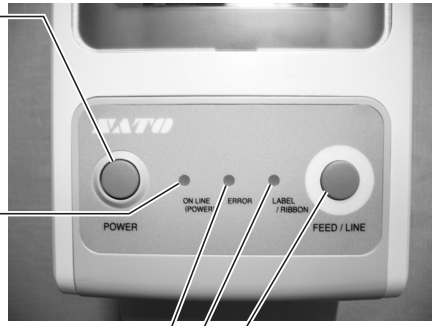
トップカバーオープン時（ハクリオプション）



ハクリユニットオープン時



▲操作部



「POWER」キー
電源をON/OFFするときに押します。

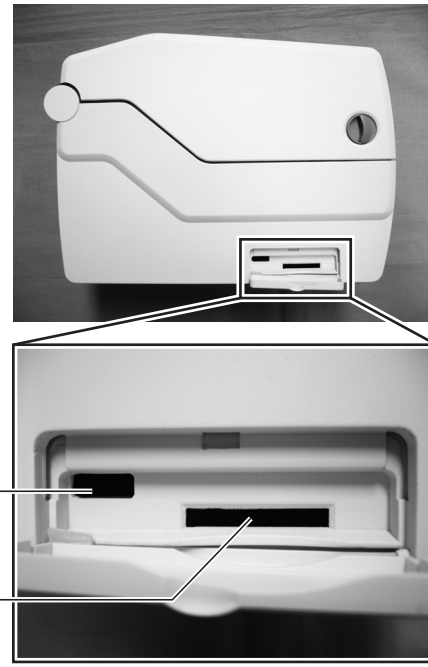
「ON LINE (POWER)」ランプ
オンライン状態で緑色点灯、オフライン状態で緑色点滅します。エラー発生時は赤色点灯または点滅。

「ERROR」ランプ
エラー発生時赤色点灯、または点滅。

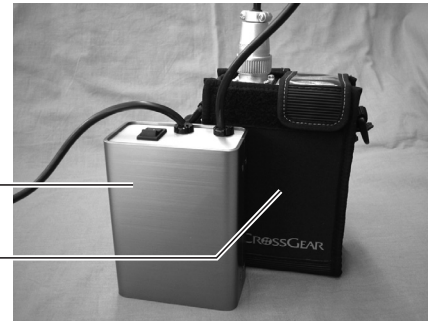
「LABEL/RIBBON」ランプ
用紙エンドエラー時およびリボンエンド時に赤色点灯、リボンニアエンド時に赤色点滅。

「FEED/LINE」キー
オンライン/オフライン状態切換えおよび用紙フィードするときに押します。

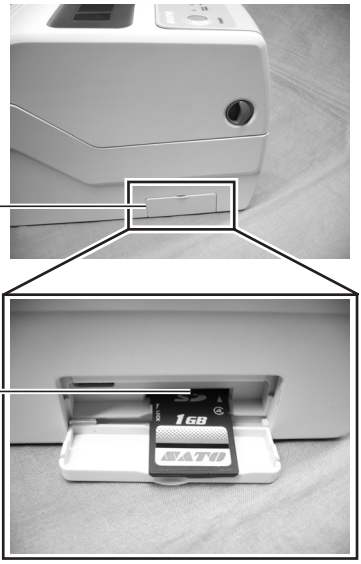
▲左側面部



▲バッテリ（オプション）



▲ SD カードの取り扱い（オプション）

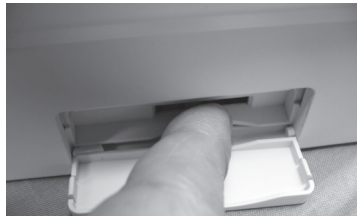


挿入方法

①サイドカバーを開けます。
②SD カードの上下、挿入方向を確認し、SD カードを奥まで差し込みます。
③サイドカバーを閉じます。

取り出し方法

①サイドカバーを開けます。
②SD カードを奥まで押し、指を離すと SD カードが少し出ますので、SD カードを取り出します。
③サイドカバーを閉じます。



⚠ 注意

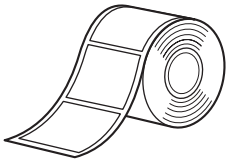
プリンタの電源が ON の状態で、SD カードの挿入・取り出しを行わないでください。記憶された内容が失われるおそれがあります。SD カードの挿入・取り出し時は、必ずプリンタの電源を切ってから行ってください。

用紙のセット

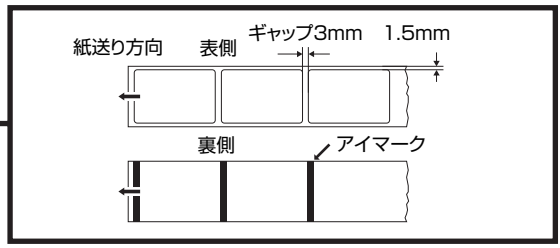
本機はロール紙・ファンフォールド紙の用紙に印字することができます。
ロール紙とファンフォールド紙では、用紙のセットのしかたがちがいます。
本機は、アイマークをセンサで検知することにより、適切な印字を行います。

本機の用紙は、当社純正品をお使いください。
規格以外の用紙は使用しないでください。

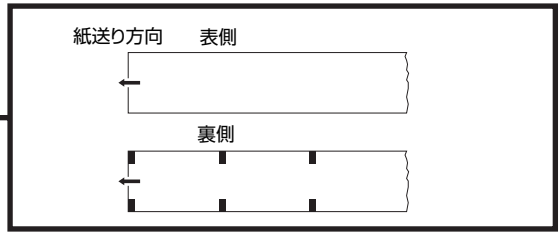
ロール紙



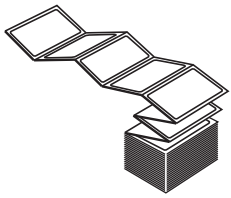
カストリ紙



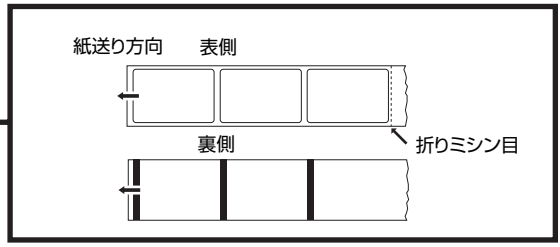
厚紙



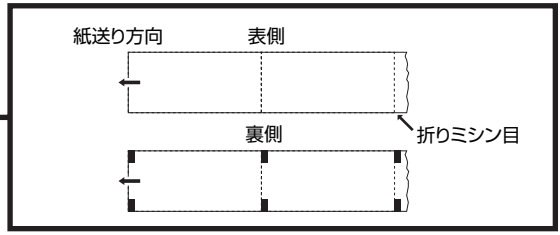
ファンフォールド紙



カストリ紙



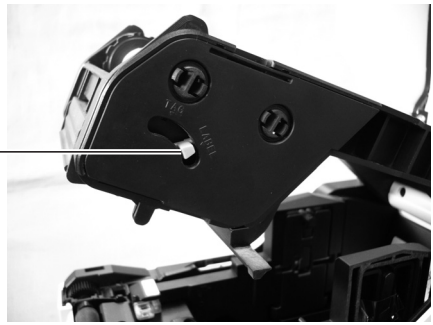
厚紙



サーマルヘッドの位置の切替え

ラベル、タグ（厚紙）どちらの用紙種別を使用するかに応じて、サーマルヘッドの位置を切替えてください

中央のレバーの左右端を手前に引き、リボンユニットを引き出します。



使用する用紙種別に応じ、ヘッド位置切替えレバーを切替えてください。

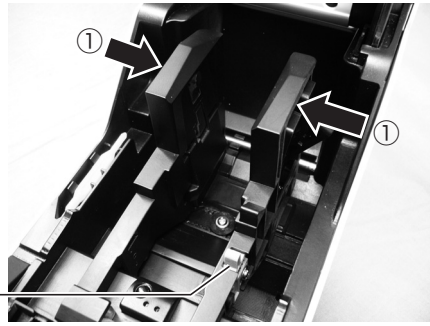
ラベルを使うとき	タグを使うとき

環境条件、用紙種別により上図と異なる場合があります。

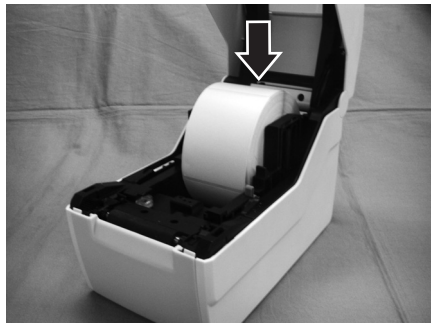
ロール紙のセット (連続 / カッタ)

1 ①本体左右のオープンレバーを手前に引き
ロックを解除し、②トップカバーを開けます。

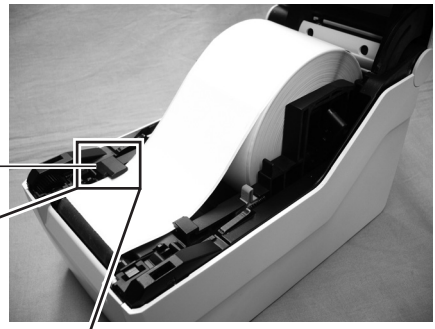
2 用紙ホルダスライドレバーをつまみながら、
①用紙サイズに合わせて用紙ホルダを左右に
スライドして調整します。



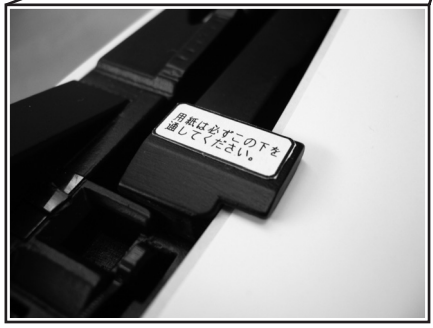
3 用紙を用紙ホルダにセットします。



4 用紙を引き出した後、用紙センサの間に用紙を通します。



用紙センサ

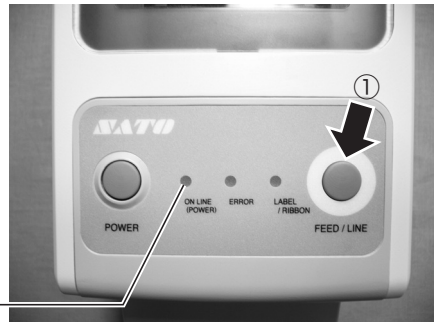


カッタタイプをお使いの場合は、用紙の先端をプラテンローラーよりも少し前に出してセットしてください。

プラテンローラー

5 トップカバーを閉じます。
このとき、上面左右の矢印の部分を押し、"カチッ"と音がするまでしっかりと閉じてください。

6 オフライン状態のときは、「ON LINE (POWER)」ランプが点滅します。① 「FEED/LINE」キーを押すと、オンライン状態になり「ON LINE (POWER)」ランプが点灯します。
オフライン状態で「FEED/LINE」キーを押して、用紙の頭出しを行います。

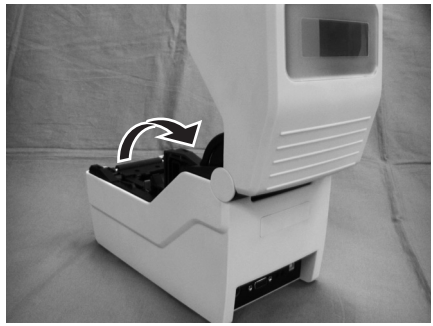


⚠ 注意

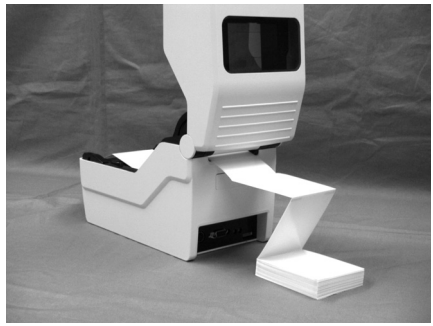
・印字終了後のサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後は、火傷しないように注意して行ってください。
・サーマルヘッドの端に素手で触るとケガをする恐れがあります。
・カッタは刃物の構造をしています。手を切らないように注意してください。
・トップカバーを閉めるときは、指を挟まないように注意して行ってください。

ファンフォールド紙のセット (連続 / カッタ)

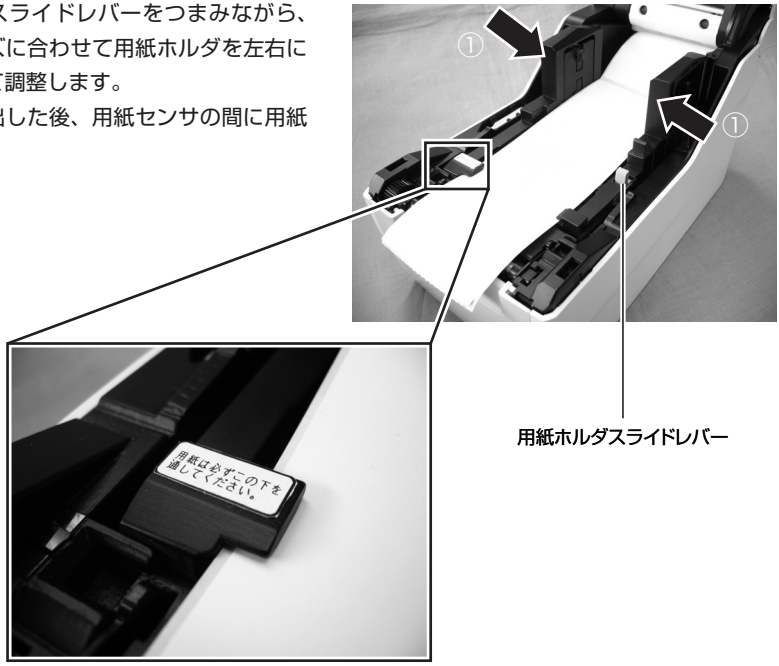
1 本体左右のオープンレバーを手前に引きロックを解除し、トップカバーを開けます。



2 背面の用紙入り口から用紙を通します。



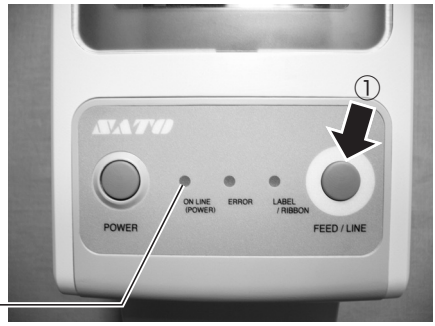
3 用紙ホルダスライドレバーをつまみながら、①用紙サイズに合わせて用紙ホルダを左右にスライドして調整します。
用紙を引き出した後、用紙センサの間に用紙を通します。



カッタタイプをお使いの場合は、用紙の先端をプラテンローラーよりも少し前に出してセットしてください。

4 トップカバーを閉じます。
このとき、上面左右の矢印の部分を押し、"カチッ"と音がするまでしっかりと閉じてください。

5 オフライン状態のときは、「ON LINE (POWER)」ランプが点滅します。① 「FEED/LINE」キーを押すと、オンライン状態になり「ON LINE (POWER)」ランプが点灯します。
オフライン状態で「FEED/LINE」キーを押して、用紙の頭出しを行います。

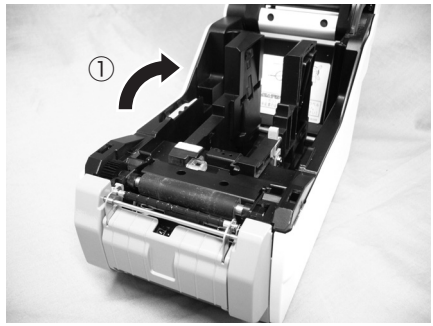


⚠ 注意

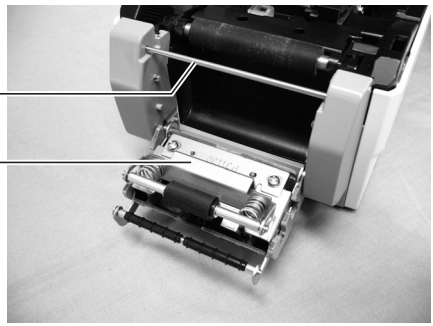
・印字終了後のサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後は、火傷しないように注意して行ってください。
・サーマルヘッドの端に素手で触るとケガをする恐れがあります。
・カッタは刃物の構造をしています。手を切らないように注意してください。
・トップカバーを閉めるときは、指を挟まないように注意して行ってください。

ロール紙のセット（ハクリ）

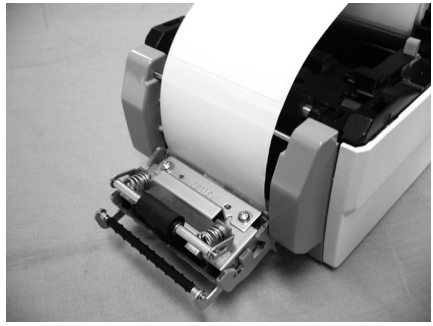
1 本体左右のオープンレバーを手前に引きロックを解除し、①トップカバーを開けます。



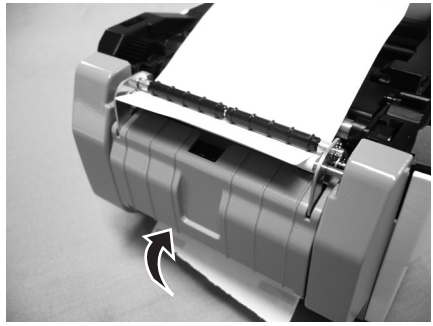
2 ハクリユニット下部に指をかけて上に持ち上げてから、ハクリユニットを開けます。

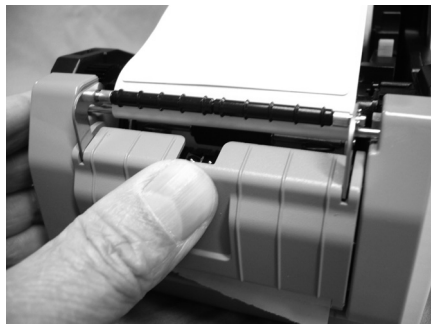


3 先頭のラベルをはがし、約 12cm 程台紙だけの状態にして、用紙を用紙ホルダにセットします。
用紙を引き出した後、用紙センサの間に用紙を通します。
用紙はハクリバーの上側からかぶせるようにして、台紙排出口に通します。

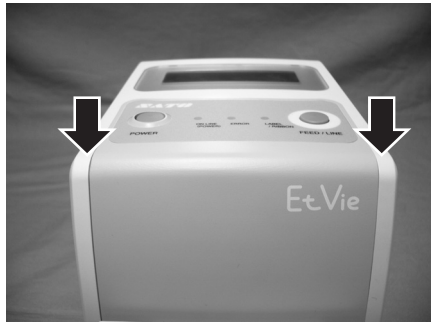


4 ハクリユニットの下側より約 4cm 程出るように台紙をセットし、用紙がたるんでいる場合は、用紙ホルダにセットしたラベルを回して巻取り、たるまないようにしてから、ハクリユニットを矢印の方向にしっかり閉じます。

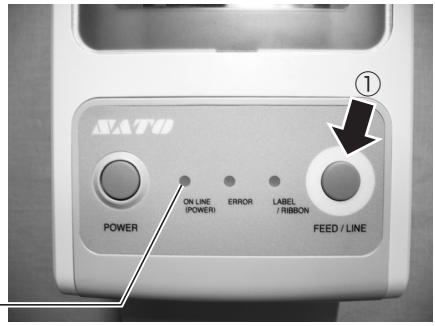




5 トップカバーを閉じます。
このとき、上面左右の矢印の部分を押し、"カチッ"と音がするまでしっかりと閉じてください。
排出口から出た台紙を軽く引っ張って、ハクリバーのまわりの台紙のたるみをなくします。



6 オフライン状態のときは、「ON LINE (POWER)」ランプが点滅します。① 「FEED/LINE」キーを押すと、オンライン状態になり「ON LINE (POWER)」ランプが点灯します。
オフライン状態で「FEED/LINE」キーを押して、用紙の頭出しを行います。

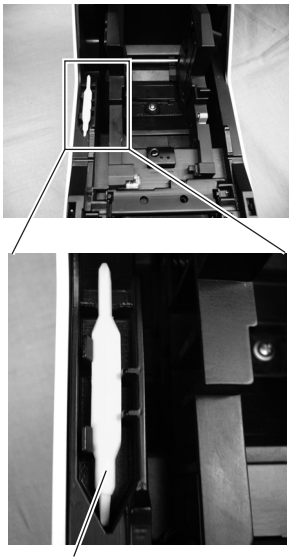


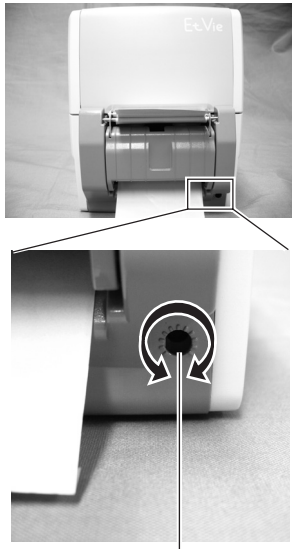
⚠ 注意

- 印字終了後のサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後は、火傷しないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの端に素手で触るとケガをする恐れがあります。
- 用紙交換は、ケガをしないように注意して行ってください。トップカバーを閉めるときは、指を挟まないように注意して行ってください。

▲ハクリ停止位置の調整

ハクリ時のラベル停止位置は、ラベルを 2 ～ 3mm 台紙に残す位置が正規の停止位置となります。ラベルの停止位置が正規の位置にない場合、用紙ホルダ横に添付してある、ボリューム調整用ドライバのプラス側を使用して向かって前面右下の「ハクリ停止位置調整用」ボリュームの調整を行います。ボリューム調整後、2 ～ 3 枚程度ラベルを発行することで停止位置が安定します。

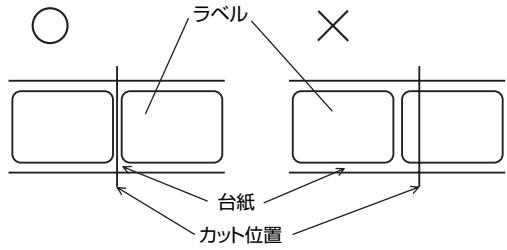




カット位置の調整

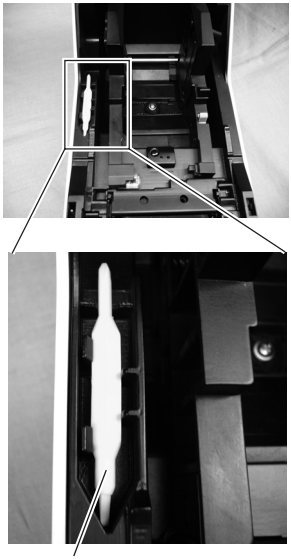
ラベルのカット

ラベル使用時のカット位置は、ラベルとラベルの間、カストリ (台紙のみの部分) が正規のカット位置となります。

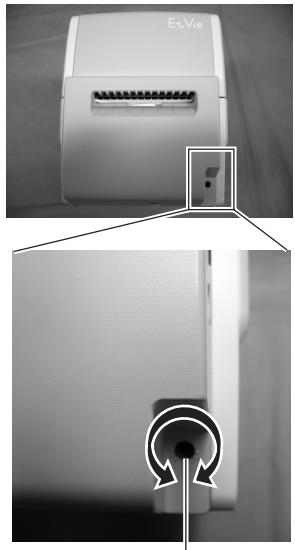


▲カット位置の調整

カット位置が正規の位置にない場合、用紙ホルダ横に添付してある、ボリューム調整用ドライバのプラス側を使用して向かって前面右下の「カット位置調整用」ボリュームの調整を行います。ラベルのカットは、のりがカッタ刃に付いて切れを悪くしますので、絶対に避けてください。



ボリューム調整用ドライバ

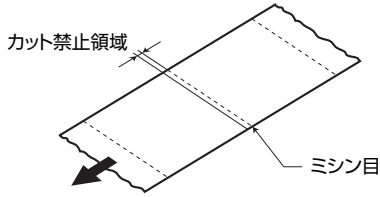


カット位置調整用

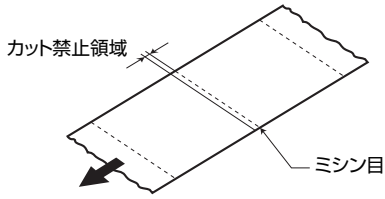
左回し:印字方向に対し後ろにラベル停止する
右回し:印字方向に対し前にラベル停止する

▲ミシン目のある用紙のカット

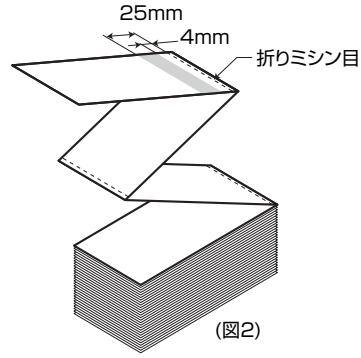
ミシン目のある用紙では、ミシン目およびミシン目の手前はカット禁止領域です。
動作不良の原因になります。
ミシン目およびミシン目の手前をカットしている場合、ミシン目の後ろでカットするようにボリューム調整用ドライバのプラス側を使用して「カット位置調整用」ボリュームの調整を行います。



以下の項目は本機で使用できる用紙の仕様となりますので、使用する前にご確認ください。
①用紙厚 (台紙含) は 0.06 ～ 0.268mm です。
　詳しくは、販売店・ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。
②カット精度は± 1.5mm です。
③カッタユニットは、カットピッチが 25～603mm(203dpi)/25～403mm(305dpi) まで有効です。但し、使用条件によってはカットサイズを規制する場合があります。
④ミシン目から +1mm は、カット禁止領域 (図 1) です。
⑤ファンフォールド紙の折りミシン目から +4 ～ +25mm はカット禁止領域 (図 2) です。
⑥ボリューム調整後、2 ～ 5 枚程度ラベルを発行することで、カット位置が安定します。



(図1)



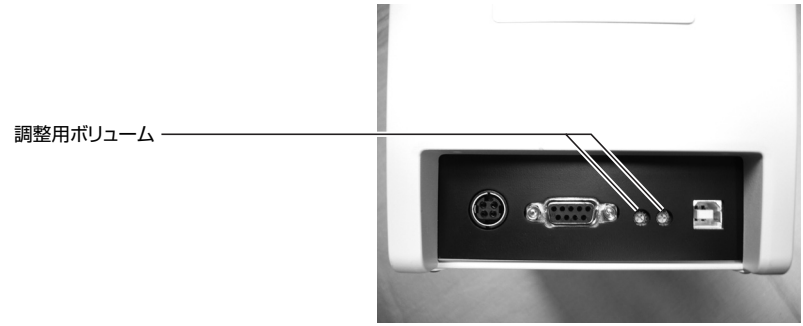
(図2)

カッタの交換

カッタを使用していきますと、切れが悪くなりカット面が毛羽立ちます。
このような状態になりましたら、カッタユニットの交換が必要です。
その際は、販売店・ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。

サービス調整用ボリューム

サービス調整用のボリュームです。
特に指示がない限り、変更しないでください。

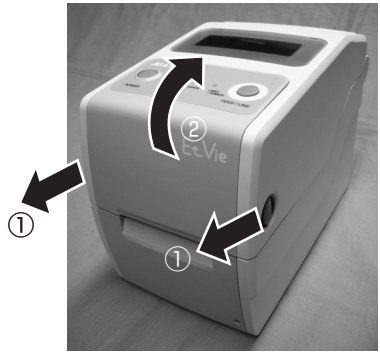


カーボンリボンのセット

本機にカーボンリボンをセットします。

本機のカーボンリボンは、当社純正品をお使いください。
規格以外のカーボンリボンは使用しないでください。

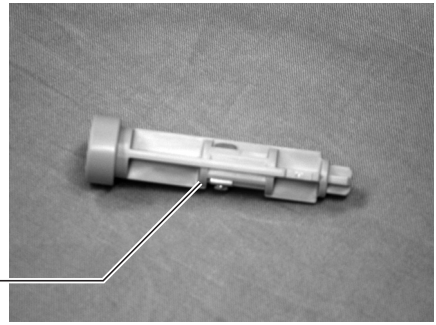
1 ①本体左右のオープンレバーを手前に引き
ロックを解除し、②トップカバーを開けます。



2 中央のレバーの左右端を手前に引き、リボン
ユニットを引き出します。

カーボンリボンの幅が、59mm と 45mm により、カーボンリボンのセット方法 3 ～ 7
が異なります。

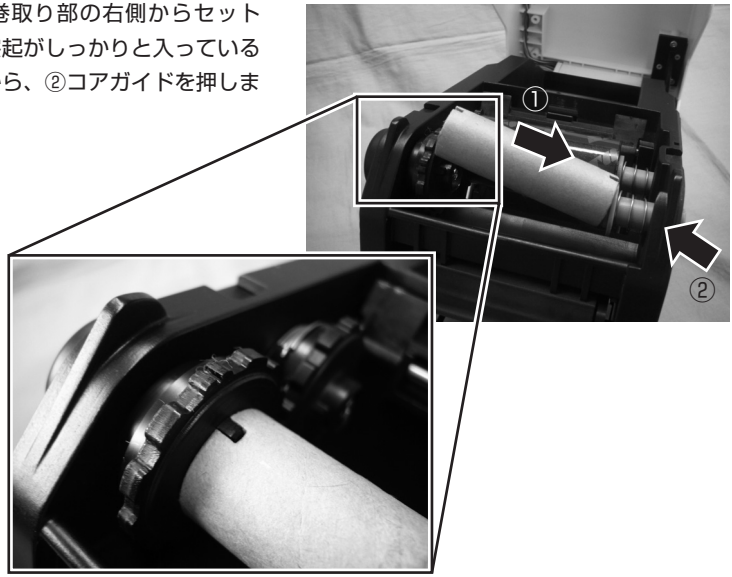
59mm 幅のカーボンリボンの場合、カーボンリボンを直接、リボンユニットにセットします。
45mm 幅のカーボンリボンの場合、リボンアダプタを使用して、リボンユニットにセットします。



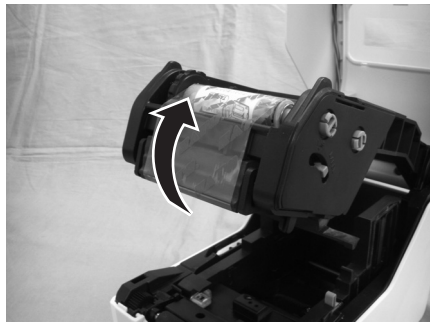
▲59mm 幅のカーボンリボンのセット

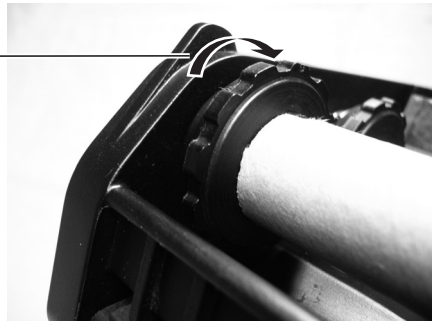
3 ①カーボンリボンをリボン供給部の右側からセット後、支管の溝に突起がしっかりと入っていることを確認してから、②コアガイドを押します。

4 ①支管をリボン巻取り部の右側からセット後、支管の溝に突起がしっかりと入っていることを確認してから、②コアガイドを押します。



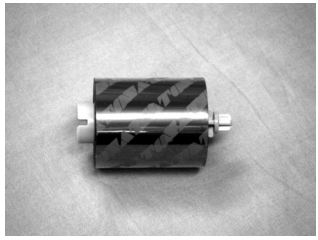
5 カーボンリボンをリボン供給部よりサーマルヘッドの下を通して、リボン巻取り部へ通します。支管にカーボンリボンをテープで貼り付けて、数回矢印の方向へ巻取ります。





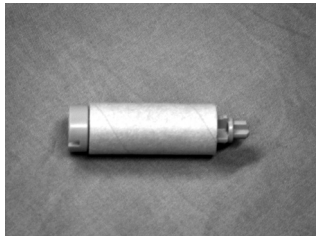
▲45mm 幅のカーボンリボンのセット

3 カーボンリボンの幅が 45mm の場合、リボンアダプタにカーボンリボンをセットします。



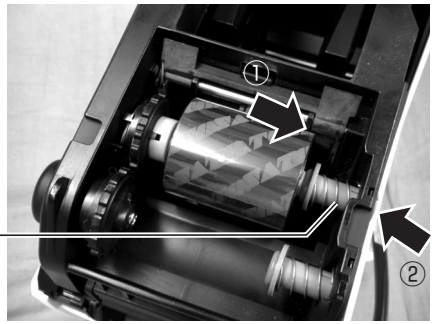
45mm 幅のカーボンリボンの場合

4 リボンアダプタに支管をセットします。

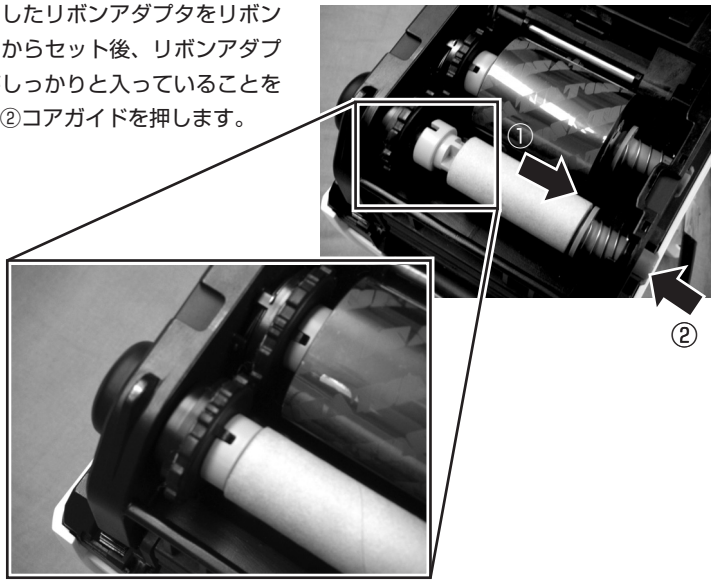


45mm 幅の支管の場合

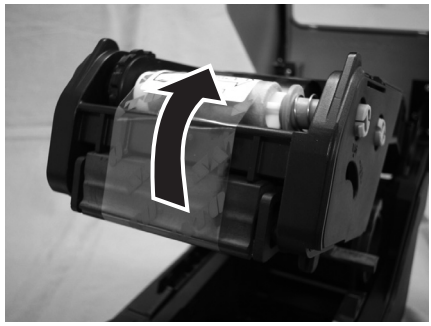
5 ①カーボンリボンをセットしたリボンアダプタを、リボン供給部の右側からセット後、リボンアダプタの溝に突起がしっかりと入っていることを確認してから、②コアガイドを押します。



6 ①支管をセットしたリボンアダプタをリボン巻取り部の右側からセット後、リボンアダプタの溝に突起がしっかりと入っていることを確認してから、②コアガイドを押します。

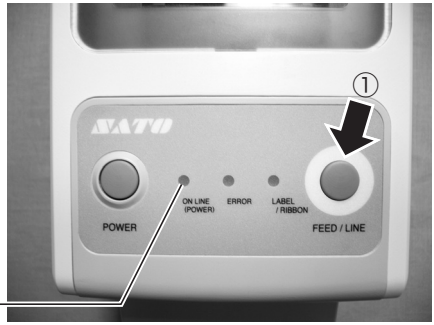


7 カーボンリボンをリボン供給部よりサーマルヘッドの下を通して、リボン巻取り部へ通します。支管にカーボンリボンをテープで貼り付けて、数回矢印の方向へ巻取ります。



8 トップカバーを閉じます。
このとき、上面左右の矢印の部分を押し、"カチッ"と音がするまでしっかりと閉じてください。

9 オフライン状態のときは、「ON LINE (POWER)」ランプが点滅します。①「FEED/LINE」キーを押すと、オンライン状態になり「ON LINE (POWER)」ランプが点灯します。
オフライン状態で「FEED/LINE」キーを押して、用紙の頭出しを行います。



⚠ 注意

・印字終了後のサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後は、火傷しないように注意して行ってください。
・サーマルヘッドの端に素手で触るとケガをする恐れがあります。
・トップカバーを閉めるときは、指を挟まないように注意して行ってください。

オプションユニットでのセット方法

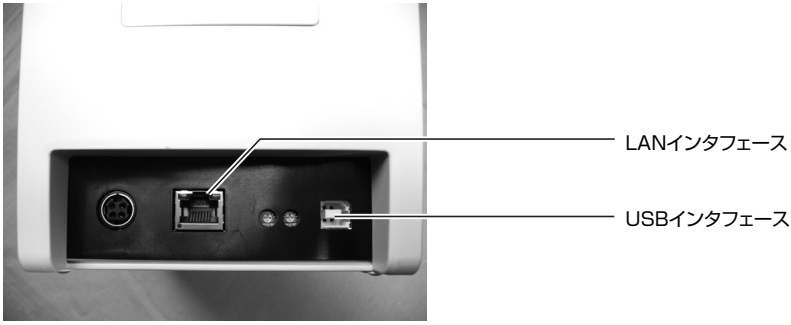
オプションユニットには、用途によって選べる以下のタイプがあります。
ご購入いただいたユニットの取扱説明書を参照してください。

・外部供給装置（UW200EF）

パソコンとの接続

標準インタフェース

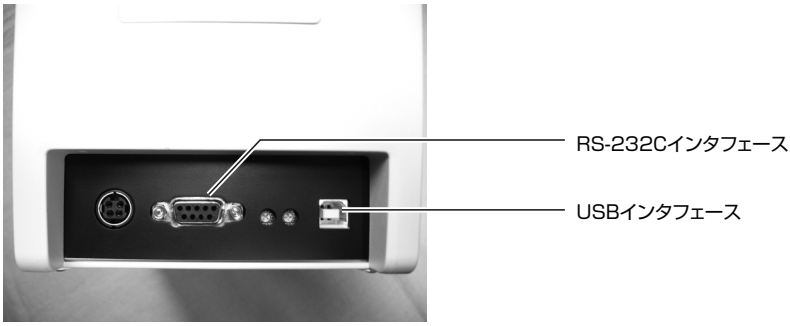
▲USB+LAN タイプ



① USB インタフェースを使用する場合は、サイドカバー内にある DSW-8 を OFF に設定します。
LAN インタフェースを使用する場合は、サイドカバー内にある DSW-8 を ON に設定します。(→ 45 ページ)

②USB インタフェースの印刷サポート、LAN インタフェースの受信モードを設定するためには、設定ツールを使って行います。
設定の詳細についてはアクセサリ CD-ROM のマニュアル「プリンタ設定ツール説明書」を参照してください。

▲USB+RS-232C タイプ



① USB インタフェースを使用する場合は、サイドカバー内にある DSW-8 を OFF に設定します。
RS-232C インタフェースを使用する場合は、サイドカバー内にある DSW-8 を ON に設定します。(→ 45 ページ)

② USB インタフェースの印刷サポート、RS-232C インタフェースの通信条件を設定するためには、設定ツールを使って行います。
設定の詳細についてはアクセサリ CD-ROM のマニュアル「プリンタ設定ツール説明書」を参照してください。

拡張インタフェース (オプション)

▲無線 LAN インタフェース

無線 LAN インタフェースを使用する場合は、サイドカバー内にある DSW-8 を OFF に設定します。(→ 45 ページ)
設定の詳細については「EtVie EV200R シリーズセットアップガイド」を参照してください。

簡易入力装置　Key-Bo(オプション)

① Key-Bo を使用する場合は、サイドカバー内にある DSW-6 を ON に設定します。(→ 45 ページ)

②プリンタ本体の RS-232C インタフェースに Key-Bo の通信ケーブルを接続します。コネクタの向きを確認し、プリンタ本体を片手で押さえ、しっかりと差し込んでください。

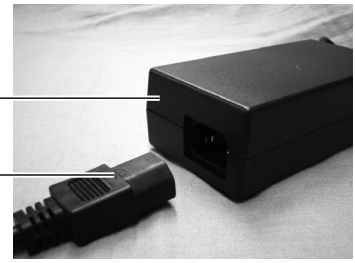
簡易入力装置 Key-Bo は、標準インタフェースが USB+RS-232C タイプのみご利用が可能です。

電源を入れてみましょう

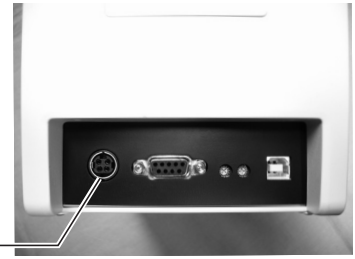
電源のセット (AC アダプタ)

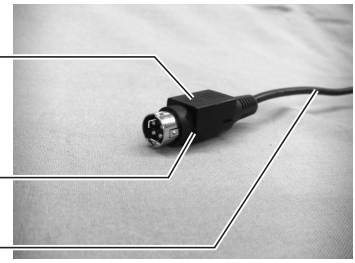
AC アダプタの DC 電源コードをプリンタ本体にセットして電源を入れます。

1 AC電源コードをACアダプタにセットします。

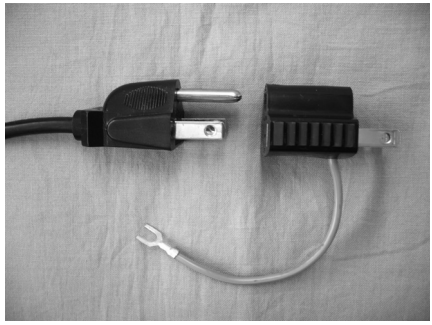


2 プリンタ本体→ AC アダプタ→電源コンセントとつないでください。DC 電源コードをプリンタ本体の電源コネクタに差し込むときは、プラグの上下を確認してください。差し込むときは、プリンタ本体を片手で押さえて差し込んでください。





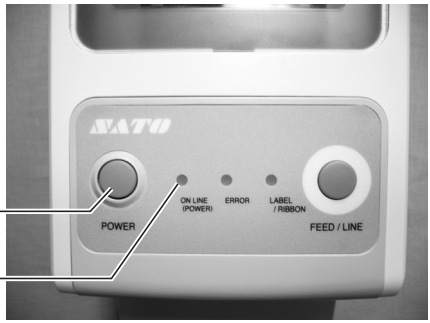
3 添付の AC 電源コードのプラグの形は 3 極タイプになっています。3 極タイプのコンセントは 3 本の電極のうち 1 本がアース設置用です。電源コンセントが 3 極のときは、そのまま AC 電源コードを差し込んでください。電源コンセントが 2 極タイプのときは、添付の 2 極アダプタを使い電源コンセントに差し込んでください。



⚠ 注意

・必ずアース線をアースに接続してください。アース線を接続しないと感電の原因となります。
・本プリンタ付属の AC アダプタと電源コードセットは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

4 プリンタ本体の操作部の「POWER」キーを長押しします。
「ON LINE（POWER）」ランプが点灯したら、「POWER」キーから指を離すとブザーが鳴りプリンタが起動します。



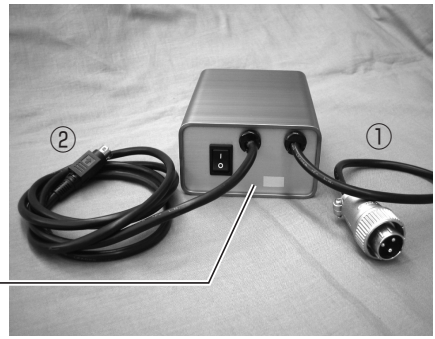
⚠ 注意

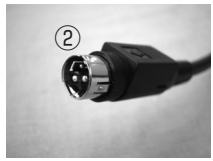
濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電する恐れがあります。

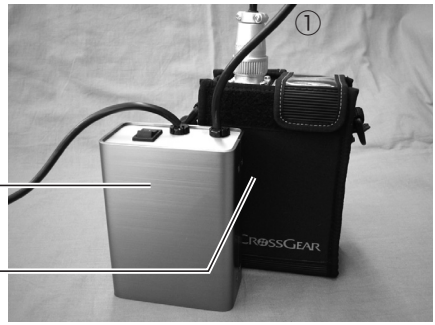
電源のセット (バッテリ (オプション))

バッテリ、バッテリ電圧安定器をプリンタ本体にセットして電源を入れます。

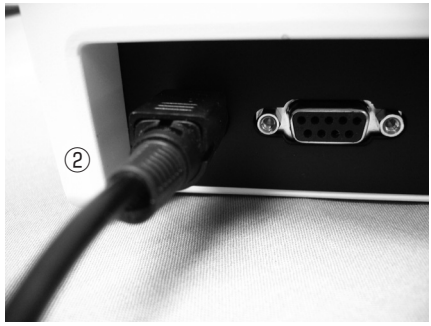
1 バッテリ電圧安定器のコネクタ① (バッテリ用) をバッテリに接続します。コネクタ① (バッテリ用) の向きに注意して差し込んでください。







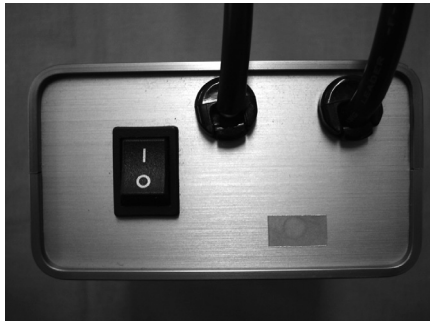
2 バッテリ電圧安定器のコネクタ② (プリンタ用) をプリンタ本体にセットします。
コネクタ② (プリンタ用) の上下を確認して差し込んでください。プリンタ本体に差し込むときは、プリンタ本体を片手で押さえて差し込んでください。



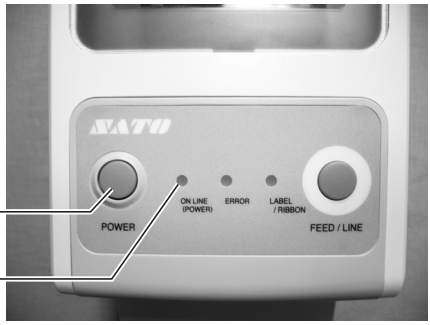
バッテリパックを電源に使用する場合、バッテリ動作指定コマンド <TB> で、必ずバッテリ動作に設定してください。コマンドの詳細については、添付しているアクセサリ CD-ROM の SBPL プログラミングガイドを参照してください。

電源を入れてみましょう（バッテリ（オプション））

1 バッテリ電圧安定器の電源スイッチを入れます。「 | 」と書いてある側を押してください。



2 プリンタ本体の操作部の「POWER」キーを長押しします。
「ON LINE (POWER)」ランプが点灯したら、「POWER」キーから指を離すとブザーが鳴りプリンタが起動します。



⚠ 注意
濡れた手でバッテリ電圧安定器の電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電する恐れがあります。

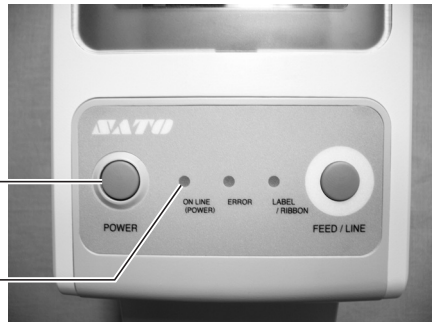
あれ？おかしいな

今までに行った準備が正しく出来ていないときは、「ON LINE（POWER)」ランプが点灯しません。準備が正しく出来ていないときは、「ERROR」ランプが点灯したり点滅します。「ERROR」ランプが点灯したり点滅したときは、準備をし直してください。

電源を切りましょう

本機が正常に動いたことを確認したら、電源を切ってみましょう。

プリンタ本体の操作部の「POWER」キーを長押しします。
「ON LINE（POWER)」ランプが消灯したら、「POWER」キーから指を離します。



⚠ 注意

濡れた手でバッテリ電圧安定器の電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電する恐れがあります。

バッテリ（オプション）の充電

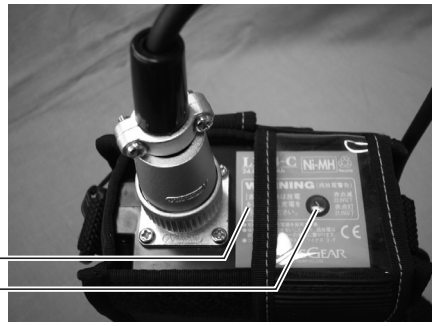
バッテリチャージャ（オプション）にバッテリを取り付けて充電します。

1 電源コードをバッテリチャージャにセットします。

2 バッテリチャージャのコネクタをバッテリに接続します。コネクタの向きに注意して差し込んでください。

3 電源スイッチを入れます。
「｜」と書いてある側を押してください。バッテリチャージャのランプが赤色に点灯します。
充電が始まると、バッテリチャージャのランプがオレンジ色に点灯します。
充電が終了すると、バッテリチャージャのランプが緑色に点灯します。

4 充電が終了したら、バッテリチャージャの電源スイッチを切り、バッテリチャージャのコネクタを取り外します。



バッテリのランプ表示

表示状態	表示内容
緑点灯	バッテリ電圧が 23.5V 以上のとき
赤点滅	バッテリ電圧が 23.0 ～ 23.5V のとき
赤点灯	バッテリ電圧が 23.0V 以下のとき

充電時間について

充電残量が空の状態から充電完了（バッテリチャージャのランプが緑色の点灯）になるまでに約 3 時間かかります。

・バッテリチャージャのランプが赤色に点灯していないときはバッテリチャージャの電源コードがしっかり取り付けられているか確認してください。しっかり取り付けられていないと、充電されないことがあります。
・すでに充電を完了しているバッテリを取り付けたときは、バッテリチャージャのランプが 1 度オレンジ色に点灯してから緑色に点灯します。
・バッテリチャージャのランプがオレンジ色の点滅になると、バッテリ異状の恐れがあります。販売店・ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。

⚠ 注意

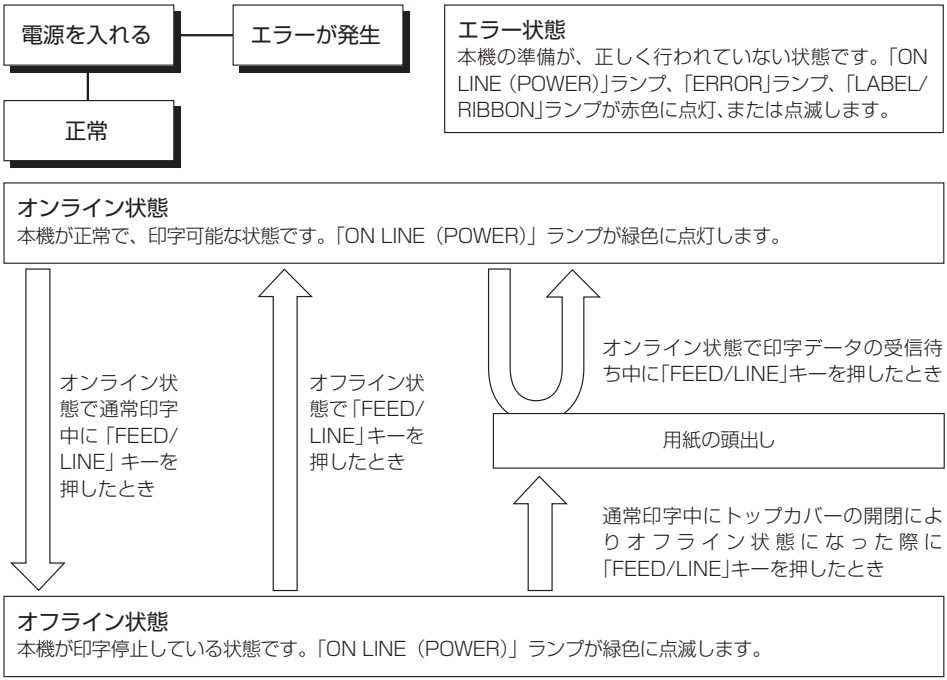
本プリンタのバッテリチャージャセット（オプション）は、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

動かしてみましょう

本機を動かしてみましょう。本機を動かすのに必要な操作のしかたや知識を覚えてください。

通常動作モード

本機を本格的に動かしてみる前に、操作の流れを説明します。



通常動作モードの LED 表示

動作状態	ON LINE (POWER)	ERROR	LABEL/ RIBBON	ブザー
起動時	緑点灯	消灯	消灯	短く 1 回
オンライン状態	緑点灯	消灯	消灯	−
オフライン状態	緑点滅	消灯	消灯	−

詳しい操作

本機の詳しい操作のしかたを説明します。

▲オンライン操作

本機がオンライン状態のとき、つぎの操作ができます。

【操作のしかた】

○本機に接続したパソコンからデータを送り、印字動作をスタートさせます。

○印字データの受信待ち中に「FEED/LINE」キーを押すと、次の用紙の頭出しをします。通常印字中に「FEED/LINE」キーを押すと、オフライン状態に切替わります。

オンライン状態

本機が正常な状態で、印字可能な状態です。

「ON LINE（POWER)」ランプが緑色に点灯します。

▲オフライン操作

本機がオフライン状態のとき、つぎの操作ができます。

【操作のしかた】

○トップカバーの開閉で、オフライン状態となります。

○「FEED/LINE」キーを押して、オンライン状態に切替えます。

オフライン状態

本機が印字停止している状態です。「ON LINE（POWER)」ランプが緑色に点滅します。

▲印字発行一時停止操作

本機が通常印字中に、「FEED/LINE」キーを押して印字を中断できます。

【操作のしかた】

○通常印字中に「FEED/LINE」キーを押すと、オフライン状態に切替わり、次の用紙先頭で印字が一時中断します。もう一度「FEED/LINE」キーを押すと、印字が再開します。

テスト印字モード

テスト印字をしてみましょう。

「FEED/LINE」キーを押しながら電源を入れる

「FEED/LINE」キーを押しながら「POWER」キーを押して電源を入れる
「ON LINE（POWER）」ランプが緑色に点灯したら「POWER」キーから指を離す
ブザーが 1 回鳴るまで「FEED/LINE」キーを押し続ける
ブザーが鳴ったら「FEED/LINE」キーから指を離す

テスト印字モード起動状態
ブザーが鳴り「ON LINE（POWER）」ランプが緑色に点灯、「ERROR」ランプが赤色に点灯します。

テスト印字モード起動状態で「FEED/LINE」キーを押す

テスト印字開始

テスト印字中に「FEED/LINE」キーを押す

テスト印字停止中に「FEED/LINE」キーを押す

テスト印字停止

テスト印字終了
テスト印字モードを終了するには、印字停止を確認してからプリンタの電源を切ってください。

テスト印字モードの LED 表示

動作状態	ON LINE (POWER)	ERROR	LABEL/ RIBBON	ブザー
テスト印字モード起動状態	緑点灯	赤点灯	消灯	短く 1 回
テスト印字中	緑点灯	消灯	消灯	−
テスト印字停止中	緑点滅	消灯	消灯	−

初期設定モード

ご注意！

通常は使用しないでください。印字条件が変更されます。

初期設定

初期設定とは、本機がはじめから記憶している設定です。
この初期設定を行うと、いままでの印字条件の設定を工場出荷時の設定に戻します。

「FEED/LINE」キーを押しながら電源を入れる

「FEED/LINE」キーを押しながら「POWER」キーを押して電源を入れる
「ON LINE (POWER)」ランプが緑色に点灯したら「POWER」キーから指を離す
ブザーが３回鳴り「ON LINE (POWER)」ランプが緑色に点滅するまで「FEED/LINE」キーを押し続ける
ブザーが鳴ったら「FEED/LINE」キーから指を離す

動作機能選択状態
ブザーが鳴り「ON LINE（POWER)」ランプが緑色に点滅、「ERROR」ランプが赤色に点灯します。

動作機能選択状態で「FEED/LINE」キーを 2 回押す

初期設定モード選択状態
「ON LINE（POWER)」ランプが赤色に点滅、「ERROR」ランプが赤色に点灯、「LABEL/RIBBON」ランプが赤色に点灯します。

初期設定モード選択状態で「FEED/LINE」キーを 3 秒以上押す
3 つの LED が消灯しブザーが鳴ったら「FEED/LINE」キーから指を離す

初期設定終了
ブザーが 3 回鳴り、初期設定が終了します。
初期設定を終了するときは、「ON LINE（POWER)」ランプが緑色に点灯していることを確認してから、電源を切ってください。

初期設定モードの LED 表示

動作状態	ON LINE (POWER)	ERROR	LABEL/ RIBBON	ブザー
動作機能選択状態	緑点滅	赤点灯	消灯	短く 3 回
初期設定モード選択状態	赤点滅	赤点灯	赤点灯	−
初期設定終了	緑点灯	消灯	消灯	長く 3 回

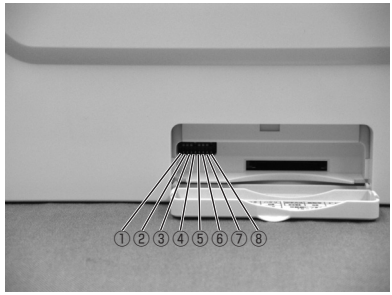
初期設定を実行すると、下記の項目が工場出荷時の設定に戻ります。

設定項目		初期値
基点補正 (縦、横)		縦 =0dot、横 =0dot
ピッチ補正		0dot
カット補正		0dot
ハクリ補正		0dot
ティアオフ補正		0dot
ラベルサイズ		長さ 4800dot × 幅 448dot（203dpi） 長さ 4800dot × 幅 672dot（305dpi）
印字速度		3 インチ / 秒
印字濃度		5A
センサ種		アイマーク
漢字コード切替え		JIS
用紙エンド検出		ロール紙
ゼロスラッシュ切替え		無効
プロポーショナルピッチ		無効
ブザー		有効
初期フィード		無効
自動フィード		無効
動作モード	連続	－（設定なし）
	ティアオフ	－（設定なし）
	カッタ	ヘッド位置
	ハクリ	ヘッド位置
インタフェース設定	RS-232C	ボーレート =19200bps、データビット =8 ビット、 パリティ = なし、ストップビット =1 ビット、 プロトコル =STATUS4
	LAN	STATUS4、ENQ 応答
	USB	－（初期設定なし）
バッテリ動作／通常動作モード		通常動作モード

詳細についてはアクセサリ CD-ROM のマニュアル「プリンタ設定ツール説明書」を参照してください。

ディップスイッチによる設定

サイドカバー内にあるディップスイッチは、プリンタの動作を決める重要なスイッチです。
間違えて設定しますとプリンタは、正常に動作しません。プリンタの動作を十分理解した上で、設定してください。



電源を切ってあることを確認してください。

ディップスイッチ表により設定したい条件にディップスイッチを設定します。
ディップスイッチの設定は、電源を入れ直したときに有効になります。

⚠ 注意

詳しくは、販売店・ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。

	EV200R シリーズ　プリンタ　ディップスイッチ表					
NO	機　　能	説　　明				工場出荷時
1 2 3	動作モード指定	DSW-1	DSW-2	DSW-3	動作モード	【カッタなし】 DSW-1 ON DSW-2 OFF DSW-3 OFF (ティアオフ) 【カッタあり】 DSW-1 OFF DSW-2 ON DSW-3 OFF (カッタ)
		OFF	OFF	OFF	連続	
		ON	OFF	OFF	ティアオフ	
		OFF	ON	OFF	カッタ	
		ON	ON	OFF	ハクリ	
		OFF	OFF	ON	未使用	
		ON	ON	ON	初期駆動設定モード※1	
4	印字方式設定	ON ：熱転写 OFF：感熱				ON
5	ヘッドチェック機能	ON ：有効 OFF：無効				ON
6	Key-Bo 指定※ 2	ON ：有効 OFF：無効				OFF
7	ヘキサダンプモード	ON ：有効 OFF：無効				OFF
8	インタフェース切替え	ON ：RS-232C/LAN インタフェース OFF：USB/ 無線 LAN インタフェース				OFF

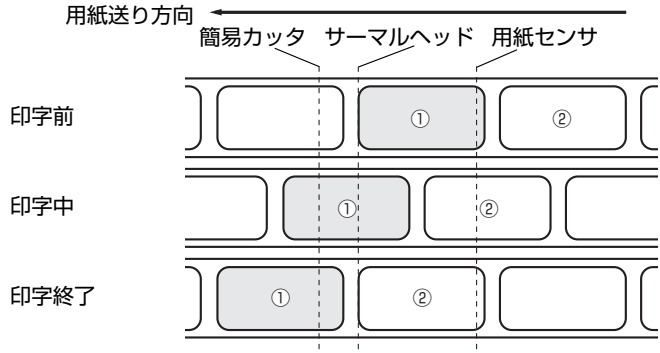
※ 1「FEED/LINE」キーを押しながら電源を入れると移行します。
※ 2 ON に設定しているときのみ Key-Bo の接続チェックを行います。
① DSW-6 が ON の場合のみ Key-Bo の接続チェックを行います。Key-Bo が接続されていると、Key-Bo へ電源供給を行います。
② Key-Bo へ電源供給を行っている場合は、定期的に Key-Bo の接続チェックを行います。Key-Bo が抜かれると、電源供給がストップし、以後接続チェックは行いません。

連続印字とティアオフ

本プリンタの動作モードでは、オプション（カッタやハクリ）を使用しない動作モードとして、連続印字動作とティアオフ動作があります。

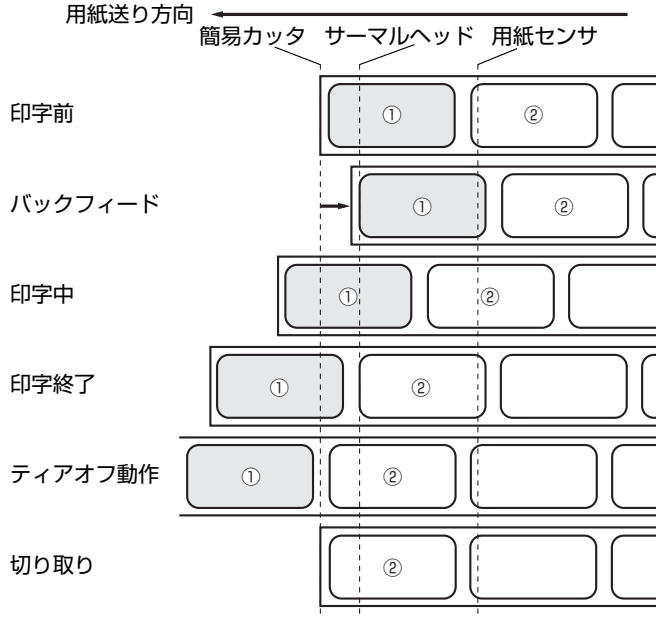
連続印字動作モード

連続印字動作モードとは、指定された印字枚数分を続けて印字するモードで、印字終了後、又は、１枚フィードの時には、つぎの印字開始位置がサーマルヘッド位置で停止します。



ティアオフ動作モード

ティアオフ動作モードとは、指定された印字枚数分を続けて印字した後、ラベルとラベルの間（台紙部）を簡易カッタの位置まで自動的に送り出します。
この動作により、印字終了後に手で簡単に用紙を切り取ることができます。
又、つぎの印字を行う時には、用紙の先端がサーマルヘッド位置までもどり、印字を開始します。



ヘッドチェック機能について

ヘッドチェック機能は、ヘッド断線の目安で、バーコード読取りを保証するものではありません。
定期的に読取りチェックをお願いします（印字の白抜けとヘッドチェック機能が働く時期とは多少ずれが生じることがあります）。
ヘッドエラー発生後に発行したラベルについては、印字したバーコードのスキャナ読取りを行って確認してください。
ラベルなどの貼りつきによる印字抜けは検知できません。定期的な清掃をしてください。

ヘッドエラー発生時の対処方法

⚠ 注意

・消耗部品の摩耗です。販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。
・ヘッドエラー発生後にお客様の操作により、エラーを解除して印字発行したラベルは、バーコードの読取りができないおそれがありますので、読取りチェックをしてください。

ヘキサダンプモード

ヘキサダンプモードとは、パソコンからプリンタに送られたデータを 16 進数で印刷するモードです。パソコンのデータがプリンタに正しく転送されているかどうか確認する場合などに使用します。

電源を切る

↓

ディップスイッチの設定をする
サイドカバー内にある DSW-7 を ON に設定します。

↓

電源を入れる

↓

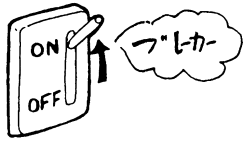
ヘキサダンプ印字開始
データを受信し、ヘキサダンプ印字を開始します。

↓

ヘキサダンプ印字終了
ヘキサダンプモードを終了するときは、DSW-7 を OFF に設定し、電源を入れ直してください。

あれ？どうしたのかな？

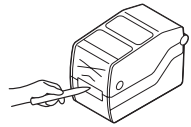
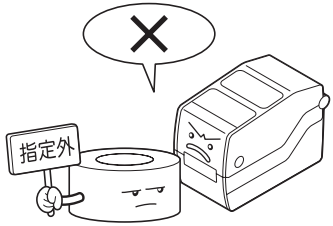
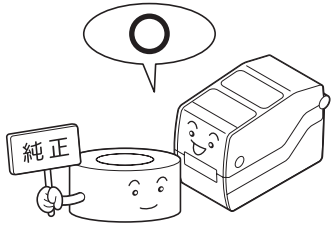
▲電源を入れてもランプが点灯しない

	【確認してください】	【直しかた】
1	電源コンセントに、AC 電源コードがしっかりと差し込まれていますか？	AC 電源コードを、コンセントにしっかりと差し込み直します。
2	本機に、DC 電源コードがしっかりと差し込まれていますか？	DC 電源コードを、本体の電源コネクタにしっかりと差し込み直します。
3	バッテリ（オプション）をお使いの場合は、バッテリの充電残量が空の状態ではありませんか？	付属のバッテリチャージャを使って、チャージャランプが緑点滅になるまで充電してください。
4	電源コードがいたんでいませんか？	電源コードを取り替えてください。 新しい電源コードは、本機を購入された販売店・ディーラーで必ず本機専用の電源コードをお求めください。本機専用の電源コード以外は絶対に使用しないでください。
5	本機の電源を取っている電源コンセントに電気がきていますか？	電源コンセントのもと電源を調べてください。もと電源に問題がないときは、建物全体に電気がきているか調べてください。停電の可能性も調べてください。 
6	建物の電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか？	建物の電源ヒューズを取り替え、ブレーカーを電源オンの位置に直してください。

⚠ 注意

濡れた手で電源スイッチの操作、電源コードの抜き差しをしないでください。感電する恐れがあります。

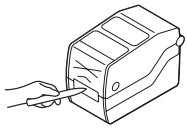
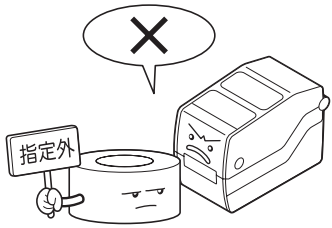
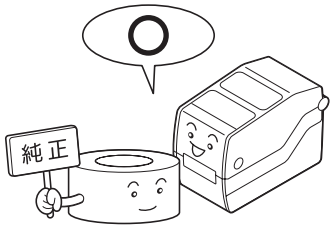
▲紙送りはするけど印字されない

	【確認してください】	【直しかた】
1	サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついていませんか？	サーマルヘッドが汚れていたら、オプションのプリンタクリーニングセットで汚れをふき取ってください。ラベルが貼りついていたらはがしてください。 * 金属物でのラベル除去は避けてください (サーマルヘッドを傷つける恐れがあります)。このとき、ラベルののりがサーマルヘッドに付着していたら、オプションのプリンタクリーニングセットでふき取ってください。「プリンタのお手入れ」を参照してください。 → 52 ページ 
2	本機専用の純正用紙・カーボンリボンを使っていますか？ 	本機専用の純正用紙・カーボンリボンを必ず使ってください。 
3	用紙センサが汚れていませんか？	用紙センサが汚れていたら、オプションのプリンタクリーニングセットで汚れをふき取ってください。「プリンタのお手入れ」を参照してください。 → 52 ページ
4	パソコンから送られてくるデータ・信号の内容が誤っていませんか。	電源を入れ直してください。それでも印字されない場合は、パソコン側のソフトウェアの内容や通信条件の確認をしてください。

⚠ 注意

清掃は、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

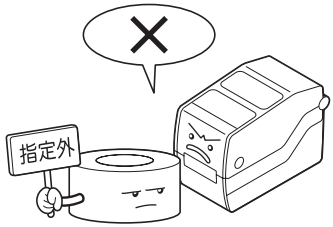
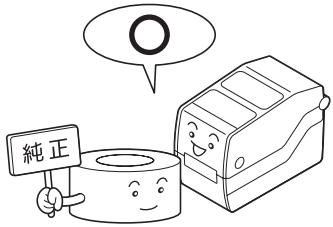
▲きれいに印字しない

	【確認してください】	【直しかた】
1	用紙・カーボンリボンが正しくセットされていますか？	用紙・カーボンリボンがきちんと固定されているか調べてください。また、トップカバーを開けて、用紙が正常な位置にとまっているか調べてください。
2	印字濃度が薄すぎたり、濃すぎたりしていませんか？	コマンド操作で印字濃度を設定し直してください。
3	プラテンローラーが汚れていませんか？	プラテンローラーが汚れていたら、オプションのプリンタクリーニングセットで汚れをふき取ってください。
4	サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついていませんか？	サーマルヘッドが汚れていたら、オプションのプリンタクリーニングセットで汚れをふき取ってください。ラベルが貼りついていたらはがしてください。 * 金属物でのラベル除去は避けてください (サーマルヘッドを傷つける恐れがあります)。 このとき、ラベルののりがサーマルヘッドに付着していたら、オプションのプリンタクリーニングセットでふき取ってください。「プリンタのお手入れ」を参照してください。 → 52 ページ 
5	汚れた用紙を使っていませんか？	きれいな用紙を使ってください。
6	本機専用の純正用紙・カーボンリボンを使っていますか？ 	本機専用の純正用紙・カーボンリボンを必ず使ってください。 

⚠ 注意

清掃は、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

▲印字位置がずれる

	【確認してください】	【直しかた】
1	用紙・カーボンリボンが正しくセットされていますか？	用紙・カーボンリボンをきちんと固定してください。また、トップカバーを開けて、用紙・カーボンリボンが正常な位置にとまるようにセットし直してください。
2	プラテンローラーが汚れていませんか？	プラテンローラーが汚れていたら、オプションのプリンタクリーニングセットで汚れをふき取ってください。
3	型くずれした用紙・カーボンリボンを使っていませんか？	用紙・カーボンリボンの周囲が型くずれしていると紙送りが正常にできません。新しい型くずれしていない用紙・カーボンリボンを使ってください。
4	本機専用の純正用紙・カーボンリボンを使っていますか？ 	本機専用の純正用紙・カーボンリボンを必ず使ってください。 
5	用紙センサが汚れていませんか？	用紙センサが汚れていたら、オプションのプリンタクリーニングセットで汚れをふき取ってください。 「プリンタのお手入れ」を参照してください。 → 52 ページ
6	パソコンから送られてくるデータ・信号の内容が誤っていませんか？	電源を入れ直してください。 それでも印字位置がずれる場合は、パソコン側のソフトウェアの内容や通信条件の確認をしてください。
7	基点補正の内容がおかしくありませんか？	基点補正の内容を設定し直してください。

⚠ 注意

清掃は、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

プリンタのお手入れ

本機は大切な情報を含んだバーコードや文字を印字するプリンタです。各部が汚れていると大切なバーコードや文字もきれいに印字できなくなるだけでなく、故障の原因にもなります。定期的に清掃してください。

お手入れはオプションの清掃用品（プリンタクリーニングセット、ラッピングシート）をご購入ください。

▲お手入れの時期

お手入れの時期の目安はつぎの通りです。

プリンタクリーニングセットでのお手入れ

・サーマルヘッド・プラテンローラー、用紙センサ、ラベルガイド
　用紙 1 巻おき、あるいは用紙 50 メートル印字ごと

・その他
　用紙 6 巻おき、あるいは用紙 300 メートル印字ごと

ラッピングシートでのお手入れ

・用紙 6 巻おき、あるいは用紙 300 メートル印字ごと

▲お手入れのときの注意

お手入れのとき、つぎのことにご注意ください。

・上の清掃時期は目安ですので、汚れの程度によって清掃してください。
・各部の清掃には、綿棒や綿布をご使用ください。
・ドライバなどの堅いものを使用して清掃すると、各部を傷つける恐れがあります。特に、サーマルヘッド部の清掃には絶対に使用しないでください。
・電源は必ず切ってから行ってください。
・ラベル・カーボンリボンは取り外してから清掃を行ってください。

お手入れのしかた

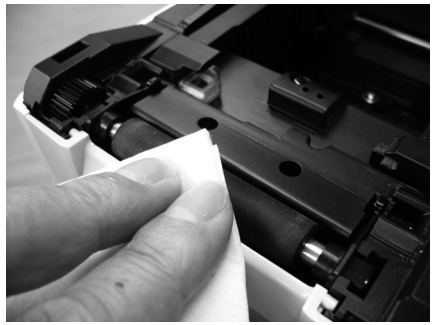
▲プリンタクリーニングセット（オプション）を使用

1 トップカバーを開け、ヘッド部を開けてください。

2 クリーニングペンでサーマルヘッドの汚れを取り除きます。また、クリーニング液（オプション）に綿布（オプション）を浸して、プラテンローラーの汚れを取り除きます。

サーマルヘッドのクリーニング

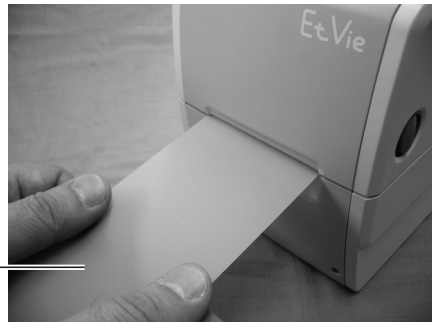
プラテンローラーのクリーニング



▲ラッピングシート（オプション）を使用

1 ラッピングシート（オプション）をサーマルヘッドとプラテンローラーの間に挟み、ヘッド部をロックします。

2 両手でラッピングシート（オプション）を手前に引きます。
これを２～３回繰り返してください。これでサーマルヘッドの付着カスは除去されます。まだカスが残っている時は、さらに数回繰り返してください。



ラッピングシート（オプション）を使用

※ラッピングシートは、ザラザラしている面が上になるように挟んでください。

3 クリーニングペンでサーマルヘッドの汚れを拭き取ってください。

⚠ 注意

・清掃を行うときは、必ず電源を切ってから行ってください。
・サーマルヘッドの清掃には、必ずクリーニングペンを使用して行ってください。

基本仕様

モデル名	EV208R	EV208R+CT（カッタ標準搭載）	EV212R	EV212R+CT（カッタ標準搭載）
印字方式	感熱方式／熱転写方式　兼用			
ヘッド密度（解像度）	8dot/mm（203dpi）		12dot/mm（305dpi）	
印字有効エリア	最大　長さ 600mm ×幅 56mm		最大　長さ 400mm ×幅 56mm	
印字禁止領域	ラベル　：長さ方向　上：1.5mm 以下、下：1.5mm 以下（台紙含まず） 幅方向　左：1.5mm 以下、右：1.5mm 以下（台紙含まず） タグ　：長さ方向　上：1.5mm 以下、下：1.5mm 以下 幅方向　左：1.5mm 以下、右：1.5mm 以下			
印字速度	50、75、100、125mm ／秒 2、3、4、5 インチ／秒		50、75、100mm ／秒 2、3、4 インチ／秒	
	※印字速度は使用する用紙種類に依存します			
用紙種類／用紙形態	当社製指定用紙を必ずお使いください。 ロール紙・ファンフォールド紙			
用紙厚	60 ～ 268 μm（0.06 ～ 0.268mm）			
用紙サイズ ※用紙種、使用環境、使用方法によって制限が付くことがあります。 ※ハクリ使用時の最大の用紙長さについては、設置条件によって制限があります。				
糊なし・タグ	連続発行　長さ：9 ～ 603mm 幅　：15 ～ 63mm カッタ　長さ：25 ～ 603mm 幅　：15 ～ 63mm ティアオフ　長さ：15 ～ 603mm 幅　：15 ～ 63mm		連続発行　長さ：9 ～ 403mm 幅　：15 ～ 63mm カッタ　長さ：25 ～ 403mm 幅　：15 ～ 63mm ティアオフ　長さ：15 ～ 403mm 幅　：15 ～ 63mm	
ラベル	連続発行　長さ：6 ～ 600mm（台紙 9 ～ 603mm） 幅　：12 ～ 60mm（台紙 15 ～ 63mm） カッタ　長さ：22 ～ 600mm（台紙 25 ～ 603mm） 幅　：12 ～ 60mm（台紙 15 ～ 63mm） ティアオフ　長さ：12 ～ 600mm（台紙 15 ～ 603mm） 幅　：12 ～ 60mm（台紙 15 ～ 63mm） ハクリ　長さ：22 ～ 100mm（台紙 25 ～ 103mm） 幅　：12 ～ 60mm（台紙 15 ～ 63mm）		連続発行　長さ：6 ～ 400mm（台紙 9 ～ 403mm） 幅　：12 ～ 60mm（台紙 15 ～ 63mm） カッタ　長さ：22 ～ 400mm（台紙 25 ～ 403mm） 幅　：12 ～ 60mm（台紙 15 ～ 63mm） ティアオフ　長さ：12 ～ 400mm（台紙 15 ～ 403mm） 幅　：12 ～ 60mm（台紙 15 ～ 63mm） ハクリ　長さ：22 ～ 100mm（台紙 25 ～ 103mm） 幅　：12 ～ 60mm（台紙 15 ～ 63mm）	

モデル名	EV208R	EV208R+CT（カッタ標準搭載）	EV212R	EV212R+CT（カッタ標準搭載）
用紙外径／支管サイズ	ラベル　：最大φ 130mm ／支管内径：φ 40mm（φ 1.5 インチ） ：最大φ 115mm ／支管内径：φ 26.9mm（φ 1.0 インチ） タグ　：最大φ 250mm ／支管内径：φ 76.4mm（φ 3.0 インチ） ：　支管内径：φ 101.6mm（φ 4.0 インチ） リストバンド：最大φ 130mm ／支管内径：φ 40mm（φ 1.5 インチ） ※用紙外径φ 130mm より大きいものは、外部供給装置を使用してください。			
リボン種類	当社製指定カーボンリボンを必ずお使いください。			
リボンサイズ／リボン形態／リボン巻方向	リボン長　：50m、※リストバンド使用時のみ 100m リボン幅　：59mm、※リストバンド使用時のみ 45mm 巻き方向　：表巻き 巻取り方式：支管巻き ※最大外径：φ 38mm（支管内径φ 12.7mm） ※用紙幅より広い幅のリボンを使用することを推奨します。			
発行モード	標準　：連続、ティアオフ、ジャーナル（センサ禁止） オプション：ハクリ、カッタ			
寸法／重量	外形寸法：幅 128mm ×奥行き 235mm ×高さ 173mm 重量　：1.6Kg			
電源仕様	AC アダプタを使用 入力電圧：AC100V-240V ± 10%（フルレンジ）50-60Hz 出力電圧：DC19V ± 5%（2.6A） バッテリを使用 定格電圧・容量：DC24V3Ah 消費電力 ピーク時　：40W / 60VA（印字率 30%） 待機時　：4.5W / 9VA			
環境条件（温度／湿度）	使用環境：0 ～ 35℃／ 30 ～ 80% RH（ただし、結露なきこと） 保存環境：-10 ～ 60℃／ 15 ～ 85% RH（ただし、結露なきこと） ※サプライ製品は除く。			
インタフェース	① USB(B タイプ)+RS-232C(D-SUB 9 ピン) ② USB(B タイプ)+LAN(10BASE-T/100BASE-TX 自動切替え) ③ SD カードスロット (1 スロット)：イジェクト可能タイプ ※ ①、②については、いずれかを選択 (生産工場対応) ※ RS-232C については、パソコン及び Key-Bo との接続に使用可能です。			
オプション	・カッタキット（268 μm 対応） ・ハクリキット ・RFID キット（13.56MHz） ・外部供給装置（UW200EF） ・外部バッテリ（バッテリ電圧安定器付き） ・外部バッテリチャージャ ・無線 LAN（802.11b/g 自動切替）キット（外付け） ・45mm 幅リボン用アダプタ ・簡易入力装置 Key-Bo ・SD カード			
LED 仕様	ON LINE（POWER）（緑 / 赤）、ERROR（赤）、LABEL/RIBBON（赤）			
操作キー	キー：POWER、FEED/LINE			

モデル名	EV208R	EV208R+CT （カッタ標準搭載）	EV212R	EV212R+CT （カッタ標準搭載）
調整用ボリューム	・アイマークセンサ調整用（センサのスライスレベルを調整します。） ・ラベルギャップ / センタータグホールセンサ調整用（センサのスライスレベルを調整します。） ・カット位置調整用（カッタキット取付時のみ調整可能） ・ハクリ停止位置調整用（ハクリキット取付時のみ調整可能）			
用紙長検出センサ	① アイマークセンサ（反射タイプ） ② ラベルギャップセンサ／センタータグホールセンサ（透過タイプ）			
バーコード	UPC-A/UPC-E、JAN/EAN、CODE39、CODE93、CODE128、 GS1-128(UCC/EAN-128)、CODABAR(NW-7)、ITF、 インダストリアル 2of5、マトリックス 2of5、UPC アドオンバーコード、 GS1 DataBar（RSS） ※ GS1 DataBar は RSS の事です。			
2 次元コード	QR コード、マイクロ QR、PDF417、マイクロ PDF、MAXI コード、 GS1 データマトリックス（ECC200）			
合成シンボル	EAN-13　Composite(CC-A/CC-B) EAN-8　Composite(CC-A/CC-B) UPC-A　Composite(CC-A/CC-B) UPC-E　Composite(CC-A/CC-B) GS1 DataBar Composite(CC-A/CC-B) GS1 DataBar Truncated Composite(CC-A/CC-B) GS1 DataBar Stacked Composite(CC-A/CC-B) GS1 DataBar Stacked Omni-Directional Composite(CC-A/CC-B) GS1 DataBar Limited Composite (CC-A/CC-B) GS1 DataBar Expanded Composite (CC-A/CC-B) GS1-128 Composite(CC-A/CC-B/CC-C) ※ GS1 DataBar は、旧 RSS-14 です。			

<table>
<tr><th colspan="2">モデル名</th><th>EV208R</th><th>EV208R+CT
（カッタ標準搭載）</th><th>EV212R</th><th>EV212R+CT
（カッタ標準搭載）</th></tr>
<tr><td rowspan="6">標準搭載フォント</td><td>ビットマップフォント</td><td colspan="4">X20 文字　5 × 9dot（英数字、記号、カナ）
X21 文字　17 × 17dot（英数字、記号、カナ）
X22 文字　24 × 24dot（英数字、記号、カナ）
X23 文字　48 × 48dot（英数字、記号、カナ）
X24 文字　48 × 48dot（英数字、記号、カナ）
X70 文字　32 × 48dot（数字、“$¥-,”）斜体
X71 文字　40 × 60dot（数字、“$¥-,”）斜体
X72 文字　48 × 72dot（数字、“$¥-,”）斜体
X73 文字　64 × 96dot（数字、“$¥-,”）斜体
X74 文字　32 × 48dot（数字、“$¥-,”）
X75 文字　40 × 60dot（数字、“$¥-,”）
X76 文字　48 × 72dot（数字、“$¥-,”）
X77 文字　64 × 96dot（数字、“$¥-,”）</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">X1 文字　20 × 50dot
（英数字、記号、カナ）
X2 文字　8 × 20dot
（英数字、記号、カナ）
X3 文字　13 × 21dot
（英数字、記号、カナ）</td><td colspan="2">X1 文字　30 × 75dot
（英数字、記号、カナ）
X2 文字　12 × 30dot
（英数字、記号、カナ）
X3 文字　20 × 32dot
（英数字、記号、カナ）</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">OCR-A　15 × 22dot（英数字、記号）
OCR-B　20 × 24dot（英数字、記号）</td><td colspan="2">OCR-A　22 × 33dot（英数字、記号）
OCR-B　30 × 36dot（英数字、記号）</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4">① 日本語
漢字 16 × 16dot
（JIS 第 1 水準、第 2 水準、角ゴシック体／明朝体選択可）
漢字 22 × 22dot
（JIS 第 1 水準、第 2 水準、角ゴシック体／明朝体選択可）
漢字 24 × 24dot
（JIS 第 1 水準、第 2 水準、角ゴシック体／明朝体選択可）
※日本語（JIS X 208 準拠）
② 中国語
漢字 24 × 24dot（GB2312）
③ 韓国語
漢字 24 × 24dot（KSX1001）
漢字フォントに関して、いずれか 1 種類をダウンロードにより対応</td></tr>
<tr><td></td><td>ラスタライザフォント</td><td colspan="4">CG Times（英数字、記号）
CG Triumvirate（英数字、記号）</td></tr>
<tr><td></td><td>アウトラインフォント</td><td colspan="4">英数字、記号、カナ</td></tr>
<tr><td colspan="2">印字方向
（文字･バーコード）</td><td colspan="4">文字：0°、90°、180°、270°
バーコード：パラレル 1（0°）、パラレル 2（180°）、シリアル 1（90°）、シリアル 2（270°）</td></tr>
<tr><td colspan="2">バーコード比率</td><td colspan="4">1：2、1：3、2：5、任意指定可能</td></tr>
<tr><td colspan="2">拡大倍率
（文字･バーコード）</td><td colspan="4">文字　：縦 1 ～ 12 倍、横 1 ～ 12 倍
バーコード：1 ～ 12 倍</td></tr>
</table>

モデル名		EV208R	EV208R+CT（カッタ標準搭載）	EV212R	EV212R+CT（カッタ標準搭載）
搭載機能		① ステータス返送機能 ② グラフィック機能 ③ 連番機能 ④ フォームオーバレイ機能 ⑤ 外字登録機能 ⑥ 白黒反転機能 ⑦ 罫線機能 ⑧ フォーマット登録機能 ⑨ ゼロスラッシュ切替え機能 ⑩ JIS ／シフト JIS 切替え機能			
自己診断機能		・ヘッド切れチェック ・ペーパーエンド検出 ・カバーオープン検出 ・テスト印字 ・リボンエンド検出 ・リボンニアエンド検出 ・ローバッテリ検出（外部バッテリオプション使用時）			
ノイズ（EMC）規格		VCCI Class B			
安全規格		PSE			
無線規格	無線 LAN (2.45GHz)	電波法 2.45GHz 帯高度化小電力データ通信システムの認証			
	HF 帯 RFID	電波法 13.56MHz 帯高度化小電力データ通信システムの認証			

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

・QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

・SD ロゴは商標です。

アフターフォローについて

サトーでは、お買い上げいただきましたサトーのシステム機器を、安心してご使用いただくために、保守サービス業務を行っております。
保守サービス業務について、ご説明します。

サービスの種類一覧表

	交換部品	技術料	出向費
保証期間内サービス	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償
保守契約サービス	契約料金に含みます	契約料金に含みます	契約料金に含みます
スポットサービス	そのつど有償	そのつど有償	そのつど有償

標準仕様機器の補修部品の保有は、当該機器の販売終了後より 5 年間とさせていただきます。
（機器の販売終了につきましては、弊社のホームページ http://www.sato.co.jp でご確認ください。）

保守サービスの内容一覧表

出向保守	オンサイト保守	故障が発生した場合、お客様のご要望により技術員を派遣し、故障の修復にあたります。
持ち込み保守	センドバック保守	故障が発生した場合は用紙を同梱した状態で、機器・故障ユニットを最寄りのサポートセンター・販売店へ、お客様により持ち込んで (運送して) いただいて、故障の修復にあたります。運送費はお客様負担となります。

保守サービスの説明

保証期間の保守サービス

製品は 1 台ごとに検査し、お届けしていますが、安心してご使用いただくため、正常な使用のもとでの故障については、納入日より 6 カ月間を保証期間として無償修理を行っております。サーマルヘッド、カッタ、プラテンローラー等の消耗部品につきましては、弊社純正サプライ製品での走行距離 30Km（カッタは 20 万回）または、お買上日後 6 ケ月間の早い方が無償修理対応となります。

保守契約サービス

保証期間が過ぎましても、安心してご使用いただくために「保守契約サービス」があります。

フルメンテナンスサービス

1. 目的

お客様とサトーが保守契約し、契約期間中の正常なご使用のもとでの修理は、この契約に基づき実施いたします。技術料、および修理に使用した交換部品は、保守契約により充当されます。したがって、お客様にとりましては 1 年間一定の保守料で安心してご使用いただくことができます。

2. 保守契約料

保守契約料は、機器ごとにご使用状況別に年間の契約料をお見積りいたします。

保守契約サービスの期間

フルメンテナンスサービスは 1 ヵ年単位で契約し、解約のお申し出がない限り、4 年間まで継続して契約することができます。4 年をこえる保守契約サービスについては、別基準にしたがい個々にお見積りいたします。

保守契約の対象地域について

保守契約の対象地域に、サトー本社、支店、営業所、サポートセンターの所在地より半径 80Km 以内といたします。対象地域外の場合は、遠隔地料を含む保守契約料により保守契約を申し受けます。なお離島の場合は、交通費を含む保守契約料により保守契約を申し受けます。

スポットサービス

保守契約を申し受けていない場合、保証期間終了後、すべてスポットサービスを実施いたします。故障時には、保守契約のお客様を優先して対応させていただきますので、修理に時間がかかることがございますが、ご了承ください。
スポットサービスを実施した場合、サービス料金表に基づき、保守料を請求させていただきます。そのつどお支払いくださいますよう、お願いいたします。

銀行預金口座振込

お支払いには、振込手続が不要で便利な「銀行預金口座振込システム」のご利用をお勧めいたします。

登録データについて

修理を依頼される場合は、機械又はカード等に登録された各種データ･ソフト (フォーマット･プリセットデータ・印字ソフト等々) は、修復作業時に壊れる場合があります。(登録された各種データ・ソフトの保証は出来ません)
特に預かり・持込み保守におきましては、お客様で予め別途保存されることをお勧めします。
修理の完了した機械の受け取り時に登録データの確認または再登録をお願いいたします。

SATO

DCS & Labeling Worldwide

Q02329000